

## II 国内における動物の虐待事例等

### 1. 動物の愛護及び管理に関する法律(昭和48年法律第105号)違反人員

(単位：人)

年 別	通常受理	起 訴	不 起 訴
昭和 49年	13	8	4
50年	6	4	1
51年	6	4	9
52年	9	3	4
53年	5	4	3
54年	6	3	3
55年	4	2	1
56年	10	5	1
57年	5	2	5
58年	6	3	1
59年	6	3	3
60年	3	2	2
61年	5	3	0
62年	5	2	4
63年	3	0	3
平成 元年	7	3	3
2年	3	2	2
3年	7	4	1
4年	11	4	0
5年	9	4	4
6年	11	2	9
7年	2	3	1
8年	12	1	11
9年	12	5	7
10年	8	4	4
11年	3	0	3
12年	14	4	11
13年	18	7	10
14年	39	18	22
15年	12	3	9
16年	27	8	21
17年	47	15	27
18年	48	12	35
19年	51	14	36
20年	72	21	47
21年	54	24	36
22年	58	18	41
23年	55	9	47
24年	46	16	32

出典：検察統計年報

注) 起訴または不起訴が翌年に繰り越される場合もあるため、それらの人数の合計と通常受理数とが一致しない年もある。

## 2. マスコミ報道された動物の虐待等事例及び関連法違反及び違反容疑一覧

### ①動物の愛護及び管理に関する法律

		a. 殺 傷			
日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内 容
1	大阪	朝日新聞	猫	猫虐待死、3匹	26日午後6時すぎ、花博記念公園鶴見緑地(守口市・大阪市鶴見区)の広場で、ぐったりとした黒茶色の若い猫が街灯の下に置き去りにされていた。四肢は不自然な方向に曲がり、ヒゲが焼かれ、鼻先にロウが付着していた。骨折は7カ所あり、歯も2本抜けていた。10日前の16日午後7時すぎにも全く同じ場所で、トラ模様の猫が口から血を流し伏せているのをホームレスの男性が見つけた。弱々しい呼吸。ペンチにたたきつけられたのか、血痕が残っていた。連絡を受けて、動物愛護団体職員が引き取ったが、間もなく死んだ。解剖の結果、頭の骨が折れ、肺から出血していたことがわかった。さらに正月3日夜には、2件の現場から北に数百メートル離れた歩道で、散歩していた鶴見区の会社員が歩道脇に猫の死骸(しがい)を見つけている。街灯の下で口から血を流していた。守口署は動物愛護法違反の疑いで捜査を始めた。
2	愛知	読売新聞	猫	マンションから猫投げ落とす? 10匹相次ぎ死ぬ 〈猫虐待〉容疑で家宅捜索…引き取り後、6匹死ぬ 愛知県警	名古屋市内にある10階建てマンションで、途中階の屋根の上や、すぐ近くの路上に投げ捨てられるなどした10匹の死んだ猫が昨年7～9月、相次いで見つかったことが分かった。10匹の大半は子猫で、中にはポリ袋に入れられ、投げ捨てられていたケースもあった。マンション住民や動物愛護団体から情報提供を受けた愛知県警は、動物虐待事件の可能性もあるとみて捜査を始めた。 名古屋市内のマンションに住む20代の男性が複数の猫を虐待した疑いが強まったとして、愛知県警南署は18日、この男性の自宅を動物愛護法違反容疑で家宅捜索した。県警によると、マンション周辺では09年7～9月に、猫10匹が死んでいるのが見つかった。県警は男性から任意で事情を聴くなどして関連を調べている。県警や名古屋市によると、死んだ猫はマンションの屋根、敷地内や近くの歩道上に放置されていた。いずれも窒息死した後、捨てられたとみられる。この男性は、捨て猫の餌い主を募集するインターネットのサイトを通じて少なくとも子猫8匹を引き取った。しかし、そのうち6匹が死に、譲り主に「ペランダから転落死した」と説明した。別の譲り主が残り2匹を返すよう求めたところ、子猫の目に出血の跡があったという。こうしたことから、動物愛護団体が猫を虐待した」として動物愛護法違反容疑で県警に告発していた。
3	兵庫	産経新聞	ウサギ	〈猫虐待〉25歳男を書類送検 「鳴き声うるさかった」	インターネットを通じて引き取った猫を虐待したとして、愛知県警南署は14日、名古屋市内の無職の男性(25)を動物愛護法違反容疑で名古屋地検に書類送検した。同署によると、男は「鳴き声がうるさかったうえ、死んだ自分の母親の写真を立ててを倒したので殴った」と容疑を認め、「虐待するつもりで引き取ったのではない」と供述しているという。容疑は09年10月7～15日、自宅アパートで飼った猫2匹の目や耳を平手でたたきなどして虐待したとしている。同署によると、男は同8～12月、子猫の里親を募集するインターネットのサイトを通じて少なくとも子猫9匹を引き取った。うち2匹は転落や栄養失調で死に、5匹は逃がしたと供述しているという。男は猫を飼っているのをアパートの管理人に知られたため、残った2匹を譲り主に返した。だが、返された2匹の目に出血跡があったため、譲り主が名古屋市内の動物愛護団体に相談。団体から連絡を受けた同署は今年3月に男の自宅を同容疑で家宅捜索していた。アパート周辺では09年7～9月、猫10匹が死んでいるのが見つかったというが、男の関与を裏付ける物証はなく、同署は立件しない方針。 13日午前8時5分ごろ、神戸市西区榎谷町菅野の大学野球部グラウンドで、ウサギの死体が放置されているのを男子部員(19)が発見し、監督(55)が神戸西署に通報した。同署によると、頭と後ろ足の片方がない胴体がホームベース付近に、内臓とみられるものがセカンドベース近くに、それぞれ置かれていた。グラウンドの出入り口は施錠されておらず、自由に出入りできる状態だった。同署は12日午後7時に部員が練習を終えて帰宅した後、何者かが死体を放置したとみている。西区内では昨年秋ごろ、小学校のグラウンドや公園などに首を切られた鳩の死体が放置されていたことが2～3回あったという。

a. 殺 傷

日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内 容
4	奈良	西日本新聞	シカ	奈良、シカの腹に矢刺さる 天然記念物、県警が捜査	13日午前10時すぎ、奈良市春日野町の春日大社の表参道付近で、腹に矢が刺さったシカを通行人が見つけた。「奈良の鹿愛護会」で保護したが、矢は深さ約24センチまで刺さり腹を貫通。重傷で弱っているという。矢が刺さっていたのは奈良公園のシカで、国の天然記念物に指定されており、奈良署は文化財保護法違反の疑いで捜査を始めた。同署によると、シカは推定10歳ぐらゐの雌で体長約130センチ、体重約44キログラム。製のボーガン用とみられる矢で、長さ約52センチ、直径約7ミリ。左から右側に刺さっていた。愛護会によると、麻酔で眠らせて捕獲。矢を抜き取るなどの処置をした。腹以外にけがはない。2003年と08年にも、前脚の付け根部分に矢やヤスが刺さったシカが見つかっており、同会は「巡回策を強化し、再発防止に努めたい」としている。奈良公園には約千頭のシカが生息している。
		西日本新聞		シカに矢39歳男を逮捕 奈良、文化財保護法違反で	奈良市の春日大社参道で3月、ボーガン用とみられる矢の刺さったシカが見つかると、奈良県警は13日、文化財保護法違反の疑いで津市芸濃町、飲食店経営者、男性(39)を逮捕し、自宅を家宅捜索した。捜査関係者によると、男性は3月12日夜～13日未明にかけて、春日大社の境内で矢を放ち、シカを傷つけた疑い。捜査関係者によると、「矢を放ったかには分らない」と供述。「金がなくてシカ肉は高く売れる」と話している。
		産経新聞		“矢シカ男”に実刑「奈良の象徴、神鹿を殺し社会に不安」	国の天然記念物に指定されている奈良公園(奈良市)のシカを矢で撃ち、死なせたなどとして、文化財保護法違反の罪に問われた津市芸濃町の飲食店経営、男性(40)と三重県亀山市の飲食店員(37)両被告の判決公判が18日、奈良地裁で開かれ、裁判官は「犯行の動機や経緯に酌量の余地はなく、計画的で悪質」として、男性(40)被告に懲役6月(求刑懲役10月)、飲食店員(37)被告に懲役6月、執行猶予3年(求刑懲役6月)を言い渡した。判決理由では「奈良の象徴のシカが殺され、地域社会に驚きと不安を与えた」と厳しく指摘した。
5	岡山	山陽新聞	猫	岡山で猫5匹が変死	岡山市中区新築港、県岡山港管理事務所の敷地内で、一度に5匹の猫の死体が見つかったことが12日、分かった。岡山中央署が調べているが、外傷や毒物を食べた明確な形跡などはなく、病死の可能性を含め死因ははっきりしていない。付近住民によると、いずれも野良猫とみられ、10日午後2時ごろ、同事務所に隣接する公園で定期的に猫にえさやりをしている岡山市の会社員女性(35)らが、フェンスで囲われた事務所敷地内の茂みや溝などで次々に発見、110番した。同事務所によると、周囲には少なくとも十数匹がすみつき、同事務所は動物愛護団体メンバーらの要請を受け、去勢手術をすることを条件に公園でのえさやりを認めていた。「一度にこれほど多くの死体が見つかったことはない」としている。12日に通報を受けた岡山市保健所も今後、詳しい状況などを調べる方針。同署はパトロールを強化するとしている。
		FNN ニュース		東京・世田谷区の公園で背中が赤くたかれた猫を保護 何者かに薬品かけられた可能性	21日未明、東京・世田谷区の公園で、頭からお尻の部分にかけて、40cm近く地肌が見えている猫1匹が保護された。薬品のようなものをかけられたのか、背中が赤くたかれた。周辺では、2009年にも同じように皮膚が焼けたたかれた猫が12匹確認されていたが、保護できたのはそのうちの5匹。警視庁も、何者かが猫に薬品をかけたこととみて、捜査を進めていた。
6	東京	TBS News	猫	世田谷でまた「やけど」のネコ見つかると	4日午前1時ごろ、東京・世田谷区の路上で、背中や足などにやけどをしたネコが3匹見つかった。ネコを保護したNPO法人によると、ネコは衰弱しきって動けなくなっており、このやけどは薬品のようなものをかけられて、できたとみられるということ。世田谷区内では去年4月以降、ヤケドをしたネコが20匹以上見つかっていて、警視庁は動物愛護法違反の疑いを視野に捜査している。
		TBS News		猫虐待、かけられたのは毒劇物か	東京・世田谷区で背中にやけどをした猫が相次いで見つかった事件で、専門家などへのその後の取材で猫にかけられたのは塩酸などの毒劇物とみられることが分かった。警視庁も地域住民から情報提供を求めめるなど、調べを進めている。
		TBS News			

a. 殺 傷

	日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内 容
7	2010/4/27	東京	毎日新聞	猫	猫虐待:相次ぐ現場見たら110番! 警視庁、愛護法違反容疑で調査	3月23日、八王子市大和田町で、首から背中にかけて傷がある野良猫が発見、保護された。今月20日にも近くで、同様の傷がある猫1匹が見つかった。2匹を治療した動物病院院長によると、いずれも背中に約30センチの直線的な傷があり、右耳を半円状に切られていた。八王子署は市内の2件の事件とも傷が似ていることから関連を調べるとともに、世田谷署とも連携とり情報収集を進めている。
8	2010/6/16	栃木	毎日新聞	犬	動物虐待:動物愛護NPO代表、容疑で書類送検 教匹が衰弱死	飼い主が育てられなくなったパットを有料で引き取りながら、満足な飼育をせずに衰弱死させていたなどとして、宇都宮中央署は15日までに宇都宮市のNPO法人と男性代表(57)を動物愛護法違反(虐待)と狂犬病予防法違反の疑いで宇都宮地検に書類送検した。送検容疑は、飼い主から手数料を取り自宅に引き取った犬数匹に、満足な餌を与えなかったり、排せつ物の処理などの世話を怠って衰弱死させた。また、年1回の接種が義務付けられている狂犬病予防注射を数年間にわたり受けさせていなかったとしている。
9	2010/6/29	石川	北国新聞	猫	猫の胸部に銃弾内臓、狩猟用の空気銃か	25日朝に内灘町内の動物病院で治療を受けた同町内の無職男性(78)の飼い猫の胸部から銃弾とみられる金属片が見つかったことが28日、津幡署などへの取材で分かった。金属片は猫の右胸のあばら骨1本を砕き、右肺を貫通して左胸部に残っており、大きさや形状などから空気銃の弾丸の可能性が大きい。通報を受けた同署は動物愛護法違反などの疑いがあるとみて調べている。
	時事通信		空気銃で猫撃った男逮捕 =「自宅に入ってくるの嫌だった」 -石川県警		石川県内灘町で体内に空気銃の弾丸が入った猫が見つかった事件で、県警津幡署は1日までに、空気銃で猫を撃ったとして、動物愛護法違反と銃刀法違反容疑で会社員の男性容疑者(61)を逮捕した。同署によると、「日ごろから猫が自宅敷地に入り、車の上に乗ったりするの嫌だった」と容疑を認めているという。逮捕容疑は、先月24日午後11時ごろ、自宅近くの民家の駐車場で、近所の男性が飼う猫を自分の空気銃で1発撃ち、けがを負わせた疑い。同署によると、男性容疑者は標的射撃のために空気銃の所持許可を得ており、所持者を調べるなどした中で浮上した。	
10	2010/7/6	栃木	産経新聞	牛	牛を宙づりで窒息死 動愛法違反で再逮捕	食肉処理場で牛を宙づりにして窒息死させたなどとして、栃木県警生活環境課と大田原署は5日、動物愛護法違反などの疑いで、群馬県伊勢崎市、回収業、男性被告(35) = 食品衛生法違反罪で起訴 = を再逮捕した。容疑を認めている。県警などの調べによると、容疑者は2月中旬ごろ、栃木県大田原市の公営食肉処理場で、牛1頭の前足にワイヤをかけて宙づりにし、窒息死させた疑いが持たれている。この方法では、牛が死ぬまでに20分ほどかかるため、県警は虐待に当たると判断した。容疑者は、同処理場から、食用検査で不合格になった疾病牛の内臓を無断で持ち出したとして、食品衛生法違反の疑いで5月に逮捕された。
11	2010/7/23	大阪	読売新聞	猫	空き地の1か所で野良猫6匹死ぬ、毒殺の可能性	22日午後8時50分頃、大阪市東淀川区の空き地で、猫6匹が一か所に集まって死んでいるのを散歩している近くの女性が見つけ、110番した。猫に傷はなく、東淀川署は毒物を食べさせられた可能性もあるとみて、動物愛護法違反の疑いで調べている。同署の発表では、現場は神崎川沿いのマンション北側にある約10平方メートルの草地。6匹は野良猫とみられ、周辺には、以前から野良猫十数匹が住みついていたという。
12	2010/8/12	茨城	産経新聞	ハト	首ないハトの死骸 笠間の公園に6羽	11日午前10時ごろ、笠間市にある「あたご天狗の森公園」で、草刈りをしてきた公園管理人の男性(70)が首のないハトの死骸(しがい)を発見、同市役所に通報した。笠間署の調べによると、死骸で見つかったのはハト6羽で、土手や池など数十メートル四方にまばらに置かれていたという。ハトはひからびたり腐敗したりしており、うち5羽には足輪が付けられていた。同署によると、現場は愛宕山山頂にある同公園駐車場南側の緩やかな斜面で、子供用滑り台やテーブルなどが設置されているが、サクラが咲く春先などを除くと、立ち入る人は少ないという。同署は同じような形態でハトの首が切られていることなどから同一人物の犯行との見方を強めており、動物愛護法違反の疑いもあるとみて調べている。

a. 殺 傷

	日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内 容
12	2010/8/18	茨城	読売新聞	ハト	首なしハト、9～16年前から行方不明だった	茨城県笠間市泉の「あたご天狗の森公園」で11日、首のないハト6羽が見つかった問題で、ハトの足に付いていた「足環」から3人の所有者が判明し、いずれも「9～16年前から行方不明になっていた」などと話していることが17日、わかった。笠間署は動物愛護法違反や器物損壊容疑とともに、肉食動物が首を食いちぎった可能性もあるとみて調べている。同署によると、3人は県内、東京都、千葉県に在住する男性で、計4羽を所有。自宅でレース用のハトを趣味で育てていたが、「訓練中に戻ってこなくなった」などと説明しているという。死んでいた6羽のうち、足環が装着されていたのは5羽。所有者が判明した4羽の足環には日本鳩レース協会を表す「JPN」などの文字が記されていたが、残る1羽は同協会以外の足環だったため、所有者が特定できていないという。
13	2010/8/14	熊本	毎日新聞	ハト 猫	死骸：虐待された動物、相次ぎ放置 住民が警察へ届け出 一熊本市	「首が切られたハトや内臓がない猫の死がいなどが相次いで見つかった」という通報が13日、熊本北署の交番にあった。同署は事実関係を調べて捜査を進める方針。届け出た大江小PTA会長によると、11日に開かれた町内会の役員会で、動物が虐待された可能性のある事実が4件報告された。役員会の出席者から12日に連絡を受けたという。マンションのゴミ置き場で内臓がえぐられた猫を発見▽道路脇の植え込みで猫の皮を発見▽別の植え込みに下半身がない猫を発見▽マンションの敷地内に首が切られたハトを発見―の4件。いずれも熊本市大江や水前寺付近で7月中旬以降に見つかったという。
14	2010/9/17	山口	読売新聞	犬	犬の足に何者かが針金 …動物愛護法違反で 捜査	山口県周南市の周南緑地公園で、針金で足を幾重にも巻かれ衰弱した犬が保護されたことがわかった。県警周南署は「針金は人為的に巻かれた可能性が高い」として、動物愛護法違反容疑で調べている。保護したのは、同市の女性会社員(48)。8月22日午後7時頃、公園を散歩中の友人から「犬がけがをしている」と連絡を受けて駆けつけたところ、後ろの両足を針金で巻かれた2歳くらいの雄犬がうずくまっていたという。針金が皮膚に食い込んでおり、動物病院で治療を受けたところ、足のケンが切れていたという。2度手術をして回復に向かっているが、歩行や排せつなどは自力で出来ない状態という。女性は13日、周南署に相談。
15	2010/9/26	山形	毎日新聞	犬	動物愛護法違反： 飼い犬5匹餓死容疑で 40代男を書類送検 ―米沢	飼い犬5匹を餓死させたとして、県警生活環境課などは25日までに、米沢市の40代男性会社員を動物愛護法違反(殺傷)容疑で山形地検に書類送検したことが捜査関係者への取材で分かった。同関係者によると送検容疑は、昨年11月ごろ、同市の実家で飼っていた犬5匹に餌や水をやるのをやめ、12月～今年1月ごろ、餓死させたとしている。同関係者によると、6月以降「異臭がする」と苦情が相次ぎ、7月2日に同市役所と置賜保健所の職員が立ち入り、餓死した犬を見つけた。
16	2010/10/10	富山	毎日新聞	犬	(動物虐待)犬が顔だけ 出して生き埋め 富山の土手	富山市興人町の運河の土手で9日午後、犬が顔だけ出した状態で土に埋められているのが見つかり、通報で駆けつけた消防署員と警察官が保護した。富山県警富山中央署は悪質なはずらとみて、動物愛護法違反(虐待)容疑で調べている。同署によると、犬は体長約1メートル、体重約30キログラムの雑種とみられる雄。全身を横向きにされ、体の上に高さ70～80センチの土が山のように盛られていた。9日午後2時5分ごろ、犬が盛んにほえる声に通行人が気付き、通報した。
	共同通信		生き埋めの犬の飼い主 名乗り 生後10年、雄の秋田犬		富山市の運河岸で犬が埋められ見つけた事件で、飼い主が富山中央署に名乗り出て、犬を引き取ったことが11日、分かった。同署によると、現場から約1キロ離れた同市下新北町に住む男性(73)が11日午前9時ごろ、テレビのニュースを見て署に連絡した。男性が9日午前6時半ごろ、散歩させようとしたところ、犬小屋からいなくなっていることに気付いた。鎖につないだ首輪が外れていた。生後約10年の雄の秋田犬という。同署は動物愛護法違反容疑で調べている。	



a. 殺 傷

日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内 容
2011/1/15		産経新聞		県文化財保護審議会が意見書提出「上げ馬神事」改善を	「小石投げたり何度も手綱引くなど動物愛護の精神に反する」急坂での馬の登攀(とうはん)により農作物の吉凶をうらなう県無形民俗文化財の多度大社(桑名市)と猪名部神社(東員町)の「上げ馬神事」で、動物虐待の有無の調査していた県文化財保護審議会は、両神事について「一定の改善はあるものの、大声を上げ、小石を投げたり、手綱を何度も引くなど動物愛護の精神に反する行為があった」として改善を求める意見書を県教委に提出した。文化財指定については取り消しはなかった。県教委は今年の神事で地元団体に改善措置を求め、さらに調査する。平成8年に動物愛護団体から文化財指定取り消しを求める要望書が出され、審議会が「興奮剤など薬物投与は動物愛護の精神に反すると安全運営を求める意見書を県教委に提出。しかし21年になっても馬をける、たたぐなどの暴力行為があり審議会が再調査を決定。22年春に両神事を調査した。猪名部神社の神事については、土壁の高さが約2メートルから約40センチ低くされ、角度も緩やかにされてきたが、首の骨を折り即死した馬に對しすみややかな対応が取れなかったほか、地元関係者が馬を興奮させるため馬の前で大声を上げ、砂や石を投げる、はっぴを振り回すなど、動物愛護の精神に反する行為があり、改善を求めた。また、能力の高い馬をそえ、騎手の練習も確実にするよう求めた。多度大社の神事については、走路について同様の改善があったものの、後ろ脚を骨折した馬を立ち上がらせるため、耳に水を入れ興奮させようとするなど動物愛護管理法違反の可能性があり適切な対応を要求。馬の選定や騎手の訓練でも改善を求めた。審議会会長は「虐待の問題は、改善されてるが、動物愛護の精神からみて根絶はされていない。県教委として強く指導し改善するべきだ」と審議結果を報告。県教育長は「意見を重く受け止めており、適切な措置を取りたい」と話した。
2011/1/21	三重	産経新聞	馬	多度大社などに県教委は正勧告「上げ馬神事」での動物虐待問題	県指定無形民俗文化財の「上げ馬神事」に動物虐待の疑いがあるとして、県文化財保護審議会が神事を行っている多度大社(桑名市)と猪名部神社(東員町)に強い指導を求める意見書を県教委に出したことを受け20日県教委は両神事を保存する多度大社と東員町瀧瀬馬(やぶさめ)保存会に是正を求める勧告を行った。県教委によると県の文化財での勧告は初めて。勧告では、両神事に対し、馬の取り扱いで、動物愛護法や愛護精神に反する虐待などの根絶▽未成年者の飲酒、喫煙を防止▽騎手の育成や馬の調達の充実を求めた。県文化財保護条例では助言または勧告ができることになっているがより強い勧告となった。
2011/7/3		産経新聞		三重の伝統行事「上げ馬神事」馬暴行で書類送検5人疑い	三重県が無形民俗文化財に指定している多度(たど)大社(桑名市多度町)の伝統行事「上げ馬神事」で、棒で馬の腹を殴りつけたなどとして、県警桑名署が動物愛護管理法違反容疑で、祭りの関係者5人を書類送検していたことが2日、分かった。無形文化財の祭りをめぐり刑事事件として摘発されるのは異例。文化財として指定を継続するかどうか検討してきた県文化財保護審議会の判断にも影響を与えそう。捜査関係者によると、送検されたのは神事を運営するため地元7地区でつくる「御厨(みくりや)」と呼ばれる団体の住民ら5人。送検容疑は、平成21年5月5日、坂を駆け上がる本番の準備運動中、興奮状態にするため馬の下腹部や尻を棒で殴りつけたり、横腹を蹴ったりするなどしたとしている。神事をめぐっては、馬にみだりに暴力行為を加えたとして、22年5月に動物愛護団体が出した告発を桑名署が受理。提出された映像などから5人を割り出し、今年2月に書類送検した。
2012/5/4		中京テレビ 毎日新聞		虐待騒動後初の上げ馬神事 多度大社	去年、「伝統文化の継承」と「動物愛護」の間で揺れた上げ馬神事が4日、三重県桑名市の多度大社で行われた。初日のこの日は12回中4回成功。監視委員会などから虐待とみられる行為の報告はなかったという。三重県の無形民俗文化財に指定され、約700年の歴史がある「上げ馬神事」は、馬にまたがった若者が急な坂の先にある土壁を乗り越えられるかどうかによって、その年の豊作や景気を占う伝統行事。上げ馬神事をめぐっては、動物愛護団体から必要以上に馬をたたいたり、壁を上らせるなどの行為が「虐待」にあたりと指摘されていた。三重県は調査の結果、去年1月、多度大社に対し安全な運営に努めるよう勧告。さらに祭りの関係者8人が馬を興奮させようと、腹を竹で殴るなど虐待したとして、三重県警から書類送検された。さらにこの結果、不起訴処分になったものの、多度大社ではこうした事態を受け、今年から「進行役」8人を新しく配置。人馬がスムーズに神事にあたれるようにした。また、地元の自治会も監視委員会を結成、動物虐待を未然に防ぐため、14人の委員が目光させた。初日のこの日は12回中4回成功。監視委員会などから虐待とみられる行為の報告はなかったという。観客は「競馬よりいい。力強い」「祭りの良さと伝統の良さ。反対の人にも見てほしい」と話していた。本祭の5日は午後2時から上げ馬が行われる予定。

a. 殺傷

日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内容
22	福岡	毎日新聞	カモ	〈動物虐待〉福岡・嘉麻で矢ガモ保護	福岡県嘉麻市上山田の山田川で6月30日、左羽にボウガンの矢が刺さったアイガモ(体長約40センチ)が県職員らに保護された。治療した福岡野生動物保護センター(同県直方市)によると矢は長さ約15センチで羽を貫通しており、折れた骨の治り方などから撃たれたのは20日ほど前とみられる。捕獲に協力した県警嘉麻署によると、10日ほど前から情報が寄せられていたという。ボウガンは狩猟の方法としても認められていない。
23	兵庫	産経新聞	猫	明石で猫の切断死体を玄関前に遺棄	9日午前5時ごろ、明石市魚住町金ヶ崎の民家の玄関前に、頭部と前足が切断された猫の死体が放置されていたのが見つかり、住人女性(29)が明石署へ通報した。同署は悪質ないたずらとみて、県動物愛護条例違反などの容疑で調べている。
2011/11/12		毎日新聞		動物愛護法違反：子猫「里親」の男、虐待容疑で逮捕	「里親」として預かった猫を床にたたきつけてけがをさせたとし、麻生署は10日、川崎市麻生区、会社員の男性(45)を動物愛護法違反容疑で逮捕した。逮捕容疑は、2日午後8時ごろ、自宅アパートで、東京都内の女性(42)から譲り受けて飼っている子猫2匹を床に数回たたきつけて、顔などにけがをさせたとしている。同署によると、広瀬容疑者は今年5月ごろから、インターネットで猫の里親を募集する掲示板を通じて猫10匹程度を譲り受けたという。今月6日、猫を譲った別の女性(52)宛てに男性からお前からもらった猫は部屋を荒らしたので生きたまま川に投げた」とのメールが届き女性が7日にアパートを訪ねると敷地内で猫2匹の死体を発見、同署に通報した。
2011/12/1		カナロコ		譲り受けた猫を虐待死、動物愛護法違反の疑いで男を再逮捕	譲り受けた猫を殺したとして、麻生署は1日、動物愛護法違反の疑いで川崎市麻生区、会社員の男(45)を再逮捕した。再逮捕容疑は、11月上旬ごろ、自宅アパート2階から猫2匹を放り投げた後、頭を踏みつけるなどして殺したほか、同月7日ごろ、自宅近くの路上から猫1匹を鶴見川に投げ捨てて殺した、としている。同署によると、同容疑者はインターネットの掲示板を通じて、今年5月から11月にかけて猫10匹ほどを譲り受けた。譲り主の女性(52)に「猫を川に捨てた」というメールを送ったことから発覚。調べに対し、「殺すつもりでもなかった。1人で生活することの不満や、仕事のストレス発散で何匹か殺した」と供述しているという。
2012/1/24 2012/1/25		朝日新聞 読売新聞 カナロコ		猫、虐待目的隠して引き取る 詐欺容疑で男を逮捕	虐待する目的を隠して猫を引取ったとして、神奈川県警麻生署は24日、川崎市麻生区岡上、会社員男性容疑者(45)を詐欺容疑で逮捕し、発表した。容疑を認めているという。同署は、元の飼い主にとって猫は大きな価値があったと判断し、詐欺罪を適用した。広瀬容疑者は、猫の里親になる際、「終生家族の一員として愛情を持って育てる」などと記載された誓約書に署名していた。だが同署の調べに「最初から面倒を見るつもりはなかった。ストレス発散のため虐待できる猫がほしかった」と供述しているという。
2012/2/16	神奈川	カナロコ	猫	川崎の猫虐待死初公判、起訴内容認める／横浜地裁川崎支部	里親として譲り受けた猫を虐待して殺したなどとして、動物愛護法違反などの罪に問われた住所不定、無職の被告(45)の初公判が15日、横浜地裁川崎支部であった。同被告は「間違いないです」と述べ、起訴内容を認めた。検察側は冒頭陳述で、インターネット上の里親サイトを介し、ストレス発散の相手として次々と猫を譲り受けたと指摘。「トイレをきちんと使えなかったことや部屋を走り回ることに腹を立て、犯行に及んだ」と述べた。さらに公判で、検察側は同被告が今回の犯行以前にも10匹程度虐待していたとした。
2012/2/17				里親としてもらった猫を虐待、詐欺容疑で男を追送検	里親として大切に育てると約束して譲り受けた猫を虐待したとして、麻生署は17日、詐欺の疑いで住所不定、無職の男の容疑者(45)＝動物愛護法違反罪で公判中＝を追送検した。追送検容疑は、昨年11月2日、当時住んでいた川崎市麻生区のアパート自室で、インターネットの掲示板で猫の里親を探していた女性(42)に対し、殺傷目的にもかわからず、「最後まで責任をもって飼ってください」などと書かれた同意書に署名して、猫2匹をだまし取った、などとしている。
2012/4/26		産経新聞		猫虐待の被告に懲役3年求刑「悪質きわまりない」	譲り受けた猫を虐待し殺傷したなどとして、詐欺と動物愛護法違反の罪に問われた住所不定の無職、男性被告(45)の論告求刑公判が25日、横浜地裁川崎支部)で開かれた。検察側は「詐欺、動物愛護法違反とともに悪質きわまりない」として、懲役3年を求刑した。判決は5月23日。検察側は論告で、広瀬被告が平成23年11月1～7日、猫5匹を殺傷したことについて「虐待癖に基づく常習的犯行だということは明らか」と指摘。猫の頭部を何度も踏みつけて殺傷したことなど犯行の残虐性を挙げ、「命ある動物に対する情など一切うかがわれな」と強調した。一方、弁護側は、広瀬被告が7年から隠匿(そうつ)病を患って通院しており、「虐待時は躁状態、自身の行動を制御できなかった」などと主張し、執行猶予付き判決を求めた。

a. 殺 傷

	日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内 容
24	2012/5/23 2012/5/24	神奈川	カナロコ 時事通信	猫	猫虐待で有罪判決、異例の詐欺罪認定／横浜地裁川崎支部	“里親”としての飼育を装いながら、譲り受けた猫を虐待して殺傷したとして、動物愛護法違反と詐欺の罪に問われた川崎市多摩区、無職男性被告(45)の判決公判で、横浜地裁川崎支部は23日、懲役3年、執行猶予5年(求刑懲役3年)を言い渡した。動物虐待事件で詐欺罪の認定は異例。裁判官は、同被告が虐待目的を隠して、愛護活動に従事していたボランティアから猫をだまし取ったと指摘。「一生かわいがると言巧みにうそを告げて誓約書を差し入れるなど、狡猾(こうかつ)な手口」と述べた。さらに、「頭部を踏みつけるなどして殺傷した態様は、まことに残虐で悪質極まりない」と非難。「被害者は被告の意図を察知できなかったことも否定できない」として、執行猶予が相当とした。判決によると、同被告は昨年11月、3回にわたり計5匹の猫をだまし取り、当時住んでいた同市麻生区のアパートなどで3匹を殺害、2匹を傷つけたとしている。
25	2011/12/6	埼玉	読売新聞 産経新聞	猫	「動物殺した、次は人間」切りつけ高2が周囲に	埼玉県三郷市の路上で先月、同市立中学3年の女子生徒(15)が刃物で襲われた事件で、同県警に殺人未遂などの疑いで逮捕された同市に住む通信制高校2年の男子生徒(16)が事件前、「動物を殺したので次は人間を殺すつもり」などと周囲に話していたことが捜査関係者への取材で分かった。県警は、男子生徒が動物虐待を日常的に重ね、それがエスカレートしたとみて詳しい動機を調べている。捜査関係者によると、男子生徒は千葉県内の私立高に通っていたが、死んだ猫の首を段ボールに入れて学校に持って行くなどのトラブルを起こし、同高を退学。今秋から同県にある通信制高校に転入した。男子生徒は普段から、動物虐待を重ねていると周囲に話し、「次は人を殺すつもり」とも語っていたという。
			読売新聞		切りつけ少年の父、刃物収集を容認…書類送検へ	埼玉県三郷市と千葉県松戸市で昨年11～12月、女子中学生らが刃物で襲われた事件で、埼玉県警は、殺人未遂容疑などで逮捕された元通信制高校2年の少年(17)が刃物を収集するのを容認したとして、父親(53)を県青少年健全育成条例違反(有害玩具等の売買等の禁止)容疑で16日にもさいたま地検に書類送検する方針を固めた。少年は刃物を使って動物虐待を重ねていたことがわかっており、県警はこれが女子中学生らへの襲撃にエスカレートしたとみている。
26	2012/2/23	京都	産経新聞	サル	「おもしろ半分で…」サル山に花火投げ込んだ少年5人書類送検へ	京都府福知山市猪崎の市動物園のサル山に大量の花火が投げ込まれた事件で、京都府警福知山署などは23日にも、動物愛護法違反と器物損壊、軽犯罪法違反容疑で、同市の高校3年生の男子生徒3人と同市の美容師の少年、綾部市の解体作業員の少年(18)＝いずれも(18)＝を書類送検する。同署によると、5人は1月3日午前6時半ごろ、市動物園の二ホンザル26頭が飼育されている「猿ヶ島」に火がついた打ち上げ花火を投げ込み、オスの二ホンザル1頭の顔面に全治2週間のやけどを負わせるなどしている。5人は遊び仲間、同署の調べに「花火で猿をからかおうと、おもしろ半分で作った」などと話している。事件後の反響の大きさに驚き、それぞれ同署へ出頭したという。同署は「5人の年齢と自ら出頭したということから書類送検にした」としている。
27	2012/3/9 2012/3/10	神奈川	カナロコ 東京新聞 毎日新聞 読売新聞	猫	猫虐待か、港北区の踏切で7匹相次ぎ死骸が見つかると	横浜市港北区の踏切付近で1月に、電車でひかれた猫7匹の死骸が相次いで発見されていたことが9日までに、港北署への取材で分かった。2匹は頭を殴られたとみられ、同署は動物愛護法違反容疑で調べている。同署によると、見つかったのは1月1～21日、同区菊名4丁目のJR横浜線菊名一大口間の法隆寺踏切周辺。いずれも付近住民が電車でひかれたとみられる猫の死骸を発見した。同署が3匹の解剖を県内の動物病院に依頼したところ、うち2匹の死因が頭蓋骨骨折による脳挫傷だったことが判明。同署は何者かが猫の頭を殴るなどした後に踏切周辺に放置したとみて捜査している。
			産経新聞		小学校のウサギ殺される、頭に殴られたような跡	兵庫県猪名川町柏梨田の町立猪名川小学校で15日午前8時10分ごろ、飼育小屋のウサギ1匹が死んでいるのを登校した飼育係の女子児童が見つけ、連絡を受けた女性校長(54)が兵庫県警川西署に通報した。ウサギの頭に殴られたような跡があり、同署は器物損壊事件として捜査している。同署によると、普段は飼育小屋の外に置いてあるというスコップが小屋の中で見つかった。飼育している動物はウサギ1匹のみで、14日午後、飼育係の児童らが餌を与えた際には異状はなく、ダイヤル式の鍵を閉めて帰ったという。
28	2012/5/16	兵庫	産経新聞	ウサギ	小学校のウサギ殺される、頭に殴られたような跡	兵庫県猪名川町柏梨田の町立猪名川小学校で15日午前8時10分ごろ、飼育小屋のウサギ1匹が死んでいるのを登校した飼育係の女子児童が見つけ、連絡を受けた女性校長(54)が兵庫県警川西署に通報した。ウサギの頭に殴られたような跡があり、同署は器物損壊事件として捜査している。同署によると、普段は飼育小屋の外に置いてあるというスコップが小屋の中で見つかった。飼育している動物はウサギ1匹のみで、14日午後、飼育係の児童らが餌を与えた際には異状はなく、ダイヤル式の鍵を閉めて帰ったという。

a. 殺 傷

日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内 容
29	兵庫	産経新聞	猫	ネコ惨殺 腹部に20センチの刃物 傷 兵庫で相次ぐ	17日午前7時ごろ、兵庫県加古川市加古川町備後の駐車場で、ネコが腹部を切られて死んでいるのを近くを清掃中の女性(67)が発見、知人女性を通じて兵庫県警加古川署に通報した。同署は何者かが鋭利な刃物で殺した可能性があるとみて、捜査している。同署によると、ネコは灰色で体長約50センチ。腹部に長さ約20センチの切られた跡があった。死後1～2日経過しているという。
30	兵庫	産経新聞	猫	止まらない虐待… 兵庫・高砂市で足のない 猫の死骸	23日午前5時15分ごろ、兵庫県高砂市荒井町小松原の民家の玄関先で、切断された猫の頭部が置かれているのを新聞配達員の男性(52)が見つけ、兵庫県警高砂署に届け出した。同署は、何者かが殺害した猫の頭部を切り取って置いたとみて、動物愛護法違反などの疑いで捜査している。
2012/6/9		産経新聞		切断、えぐり、惨殺猫、 ハト 止まらぬ「猟奇的犯行」	27日午前11時15分ごろ、兵庫県高砂市高砂町鎌町の会社員の男性(34)方で、家族が庭掃除していたところ、木の下で右後ろ足のない猫の死骸を見つけ、高砂署に通報した。同署によると、死後2～4日経過。傷跡から刃物で切られたか、車にひかれた可能性があったという。庭には血痕がなかった。同署は動物愛護法違反などの疑いで調べている。
2012/6/18	兵庫	産経新聞	猫 ハト	加古川でまた切断され た猫の上半身死骸 動物の惨殺体7件目	5月10日午前6時ごろ、加古川市尾上町養田の民家で、首の右側周辺を切られて死んでいる猫を住人の女性(74)が見つけた。異常な死に方を不審に思い、交番に通報した。兵庫県警加古川署によると、猫は雑種だった。右耳からあらうにかけて長さ10センチほど、鋭利な刃物のようならもので切られた傷痕があったという。女性宅の隣は空き家で、約半年前まで住んでいた男性が飼っていた猫らしく、最近では女性が面倒をみていたそうだった。発見場所は女性宅の軒下。捜査関係者によると、傷の状況などから野良犬などの動物に襲われて死んだとは考えにくいという。周辺には少量の血痕しかなかったため、別の場所から持ち込まれた可能性が高いとみられている。
2012/6/28		産経新聞		また猫の頭部と下半身 刃物で切断 兵庫、周辺11件目	1週間後の同月日には、加古川市加古川町の備後と寺家町の2カ所、腹をえぐり取られた猫がそれぞれ見つかった。2カ所の距離は約1・3キロと近く、また首から後ろ足にかけて「アジの開きのように」(捜査関係者)鋭利な刃物で切られたような痕があるなど死骸の形態がよく似ていたという。寺家町の現場は、元医院の空き家。
2013/4/24		税金と保険の 情報サイト		加古川連続猫惨殺犯 兵庫県警が特定	17日午前11時50分ごろ、兵庫県加古川市加古川町のマンシヨンの駐車場に、切断された猫の上半身が置かれているのを住民の女性(58)が見つけ、110番した。加古川署は何者かが鋭利な刃物で殺した可能性が高いとみて、動物愛護法違反事件などとして捜査している。同署によると猫は黒色で首輪はしていなかった。腹部が切断され、近くには後ろ足1本が落ちていた。周辺に血痕は少なく、殺害後に現場へ持ち込まれたらしい。
					28日午前6時ごろ、兵庫県加古川市の草むらで、近くの農業の男性(65)が猫の頭部を発見、110番した。駆けつけた兵庫県警加古川署員が南西約25メートルの駐車場で同じ猫とみられる下半身部分を見つけた。頭部に刃物のようなもので切断された痕があり、同署は何者かが殺した可能性があるとみて器物損壊や動物愛護法違反容疑で捜査している。同署によると、猫は子猫とみられ、白と茶のまだら模様。上半身部分は見つかっておらず、頭部の傷口に鋭利な刃物のようなもので切断された痕があったという。現場周辺に血痕はなく、何者かが猫を殺して持ち込んだとみられる。
					加古川市職員も夜間パトロールにあたるなど、警戒と捜査が続けられてきたが、このほど猫の死骸を分析した獣医師から『犯人』はアライグマとする報告が上げられた。死骸の皮下に、アライグマの歯によるものと思われる痕跡が見つかったとのこと。兵庫県警では、断定はしないとしながらも、専従捜査班を解散した。アライグマは愛嬌のある見た目に反して凶暴性が高く、海外でも大型犬を襲った例などが報告されている。

a. 殺 傷

日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内 容
2012/6/1		毎日新聞		(猫連続死) 大阪の小学校周辺で10匹毒入り餌原因か	大阪市鶴見区の市立横堤小学校と周辺で5月18日以降、血を吐くなどして死ぬ猫が相次いで見つかったことが大阪府警鶴見署への取材で分かった。計10匹に上るが、いずれも目立った外傷はなく、同署は毒物入りの餌を食べた可能性があるとみて、解剖して詳しい死因を調べる。鶴見署によると、横堤小の運動場や校舎内で4匹、付近の路上や市営住宅でも5匹の死骸が発見された。近くの市立横堤中学校では5月30日、生徒が校内で衰弱した猫を発見したが、間もなく死んだ。近接した場所でも猫が連続して死んでいることから、同署は動物愛護法違反の疑いで捜査している。
2012/12/2 2012/12/3		読売新聞 朝日新聞		猫殺し相次ぎ 飼い主ら告訴…大阪鶴見区	大阪市鶴見区諸口の団地周辺で6～10月、14匹の猫の死骸が見つかり、飼い主や住民ら6名が3日、大阪府鶴見署に器物損壊、動物愛護法違反容疑で告訴・告発状を提出した。住民らによると、市外は団地1階の手すりや花壇などで見つかった。住民らが岐阜大などに3匹の解剖を依頼したところ、何者かが頭部に強い力を加えて骨折させるなどした可能性が高いことが判明したという。
2012/12/30	大阪	産経新聞	猫	血吐き、アゴ砕かれ…ネコ惨殺 20匹以上の“不気味”	5月18日早朝、同区の市立横堤小学校の運動場で、児童がサッカーゴール裏でぐったりとしているネコを発見した。すぐに駆け寄り確認したが、すでに死んでいた。3日後には校舎南側の通路で1匹、10日後にはプールの敷地内などで2匹の死体を相次いで発見された。30日には、同小に隣接する中学校で血を吐いてふらふらしているネコを市が保護したが、懸命の治療もむなしく、助からなかった。以前からこの周辺は野良ネコが多く、同小に隣接する市営住宅の住民が、平成20年に「鶴見区の野良猫を減らす会」を結成。これまでに約30匹のネコに避妊手術を受けさせてネコの数の自然減を目指す一方、名前をつけたり住居内にエサ場を作って毎日エサを与えるなどかわいがっており、同小で見つかったのはこの住宅で保護しているネコだった。住民らによると、今度は約500メートル離れた別の市営住宅周辺で6、7月にそれぞれ1匹の死骸が発見された。さらに8、9月には各2匹、10月には8匹のネコが相次いで不審な死を遂げた。この市営住宅でも住民が日頃、ネコの世話やふんなどの清掃活動に取り組んでいた。ネコの多くは口から血を吐いて死んでおり、中には建物1階の手すりに引っかけられた子ネコや、強い力でアゴの骨を折られたネコの姿もあった。さらに野良ネコだけではなく、住民の飼っているネコも被害にあっており、変わり果てた愛猫の姿に、住民らは「何の抵抗もできない動物を一方的な暴力で死に追いやるなんて許せない」と怒りに身を震わせた。
2012/8/22 2012/9/13	広島	産経新聞 毎日新聞	猫	ネコ虐待し死なせる 広島東署、容疑で男逮捕	ネコを虐待し、捨てたとして広島東署は12日、動物愛護法違反と廃棄物処理法違反の疑いで広島市南区の無職男性(37)を逮捕した。「虐待したが、壁面にたたきつけたりしていない」と容疑を一部否認しているという。逮捕容疑は昨年9月から今年8月までの間、自宅でネコ2匹を殴るなど虐待を加え、同区内の比治山公園の山林に死体を埋めたとしている。同署などによると、同市内の動物愛護団体が8月に無職男性の自宅を訪れたところ、室内に不自然な血痕が見つかったため、110番していた。男性は同団体に、ネコ12匹を虐待し、死なせたことを認めたといい、同署は余罪があるとみて捜査している。また、同署の発表では男性が飼っていたネコは、飼い主のいない動物を預かる広島市動物管理センターから譲り受けたといい、同センターは「こういうことがあると想定していなかった。今後は、譲り渡しなどの方法についても検討していきたい」としている。
2012/11/7				ネコ虐待の男に懲役6月を求刑 地裁初公判で検察側広島	飼っていたネコを殴り、けがを負わせたとして動物愛護法違反罪に問われた広島市南区の無職男性(37)の初公判が6日、広島地裁であり、無職男性は「間違いない」と起訴内容を認めた。検察側は懲役6ヶ月を求刑し、即日結審した。判決は22日に言い渡される。
2012/8/31	兵庫	産経新聞	猫	保育所にネコの切死死骸 神戸	30日午前8時15分ごろ、神戸市北区ひよどり台の市立ひよどり台保育所で、ネコの死骸が放置されているのを保育所の男性職員(24)が見つけた。死骸は頭部から腹部までだけで、刃物で切断されたような跡があるという。神戸北署は動物愛護法違反容疑などで捜査している。同署によると、死骸に首輪はなく、保育所北側の草むらに放置されており、男性職員が気づいた際は別のネコがそばにいたという。周囲に血痕はなく、同署は別の場所でも切断された可能性があるとみている。

a. 殺傷

	日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内容
35	2012/11/13	栃木	毎日新聞	ウサギ	清滝小：ウサギ4羽死ぬ 傷つけられた跡 一日光	12日午後1時20分ごろ、日光市清滝の市立清滝小学校で、敷地南西側にあるウサギ小屋で飼育していたウサギ4羽がすべて死んでいる、と男性教諭(51)から日光署に通報があった。ウサギには傷つけられたような跡があるという、同署は器物損壊事件として捜査している。同署や同小によると、ウサギは2年生が餌やりやふんの片付けなどの世話を担当していた。小屋の様子がおかしいことに気づいた児童が近くにあった男性教諭に報告し、発見したという。同署は児童が最後に世話をした9日午前10時35分ごろ～12日の発見時ごろ、不審な点がなかったかを調べる。小屋は金網等で囲っており、目立って破られた形跡はなかった。
						千葉県栄町安食台の公園に毒入りソーセージ 犬や猫が連続被害
36	2013/1/9 2013/1/10	千葉	NHKニュース ウェブ 毎日新聞	犬	動物愛護法違反： ソーセージで犬が中毒 農薬付着、散歩中食べ 一枚の公園	昨年10月、栄町安食台の公園に農薬の付着したソーセージが置かれ、散歩中の飼い犬が食べて中毒症状を起していたことが分かった。成田署は人為的に置かれた疑いが高いとみて、動物愛護法違反(虐待)容疑で捜査している。同署や同町などによると、この飼い犬は同月15日、地面に置かれていたソーセージを食べ、体調を崩したという。ソーセージは1本を半分に斜めに切っており、その切断面に青い液体が付着していた。同署が残っていたソーセージを鑑定。先月末、殺虫成分を含むカーバメート系農薬と判明した。
						2012/10/25
37	2012/11/18	広島	産経新聞	猫	呉市でネコの死体みつかる 呉の切断猫10匹に =広島県警	16日午後3時ごろ、呉市立神田小学校の正門付近で、首が切断され胴体だけの子ネコの死体が見つかった。県警呉署は動物愛護法違反や器物損壊の疑いで捜査している。同署によると、刃物で切断されたときみられるという。
						2012/11/19
37	2012/12/6 2012/12/7	広島	産経新聞 中国新聞	猫	呉で猫の切断死骸11 体目	6日午前8時半ごろ、呉市上内神町の住宅の庭で、住民が鋭利な刃物で切断されたと思われる猫の死骸を見つけた。呉署が器物損壊や動物愛護法違反の疑いで調べている。同署によると、頭部と前足など上半身だけで、首輪はなかった。現場で切断した痕跡もないという。
						2012/12/22
37	2012/12/31	広島	産経新聞	猫	呉市でまたネコの死骸 見つかる	30日正午ごろ、呉市広橋路の住宅街にある側溝で、刃物で体の皮膚を切り取られたネコの死骸が見つかった。県警は動物愛護法違反容疑などで調べている。

a. 殺傷

日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内容
2012/12/31		スポーツニッポン		14匹目 また猫の死骸 同一犯か	30日午後10時半ごろ、広島県呉市の市道で、腹の皮膚を切り取り取られた猫の死骸を、パトロール中の警察官が見つけた。呉市内で3月以降、殺されたとみられる猫の死骸の発見は14匹目となった。県警広島によると、死骸は首から股にかけて腹側の皮膚が切り取られており、歩道上に置かれていた。30日風にも約2キロ離れた場所で皮膚を切られた猫の死骸が見つかり、同署は同一犯の犯行とみて、器物損壊と動物愛護法違反容疑で捜査している。
2013/1/8 2013/1/9 2013/1/10		スポーツニッポン NEWS24 産経新聞		呉市で15匹目の猫の 死骸 頭部のみ発見	8日正午ごろ、広島県呉市の畑に猫の頭部が置かれているのを畑の所有者の男性が発見、110番した。呉市内で昨年3月以降、殺されたとみられる猫の死骸が見つかったのは15匹目。呉署によると、付近から猫の胴体は見つからず、別の場所で見つかったとみられる。呉署は同一犯の可能性もあるとみて、器物損壊と動物愛護法違反の疑いで調べている。
2013/1/21 2013/1/22 2013/1/23		スポーツニッポン 日テレNEWS24 産経新聞		呉で切断されたネコの 上半身発見	21日午前11時30分ごろ、呉市広大の黒瀬側右岸の河川敷で、切断されたネコの上半身の死骸があるのを通行人が見つけた。別の場所で見つかったとみられ、県警広島が動物愛護法違反などの疑いで捜査している。切断されたネコの死骸が呉市内で見つかったのは、昨年3月から16体目。
2013/2/2 2013/2/4		福井新聞 産経新聞		広島・呉で猫の死骸、17 匹目 警察が動物愛護法違反 容疑で捜査	2日午前9時50分ごろ、広島県呉市西辰川の住宅の敷地内に、腹を切られた猫の死骸が置かれているのをこの家の住人が見つけ、近くの交番に通報した。昨年3月以降、呉市内で殺されたとみられる猫の死骸の発見は17匹目。呉署によると、住宅玄関前の庭に置かれ、腸がはみ出た状態だった。別の場所で見つかったとみられる。呉署は同一犯の可能性もあるとみて、器物損壊と動物愛護法違反の疑いで調べている。
2013/2/8		共同通信		広島・呉で猫の死骸、18 匹目 登校中の女子児童 が発見	7日午前7時40分ごろ、広島県呉市焼山中央の市道で、腹部を刃物で切り取られた猫の死骸が置かれているのを登校中の女子児童が発見し、学校を通じて呉署に通報した。同署が8日明らかにした。呉署によると、呉市内で昨年3月以降、殺されたとみられる猫が見つかったのは18匹目。同署は、同一犯の可能性もあるとみて器物損壊と動物愛護法違反の疑いで調べている。
2013/2/10 2013/2/11	広島	広島テレビ 産経新聞	猫	民家の庭に猫の首 呉市、19匹目の死骸	広島県警呉署は10日、広島県呉市東辰川町の民家の庭で、猫の死骸の頭部が発見されたと発表した。同署によると、猫は首から下が切断され、頭部のみが庭に置かれていた。10日午前9時10分頃、この家の住民が発見し、110番通報した。呉市内で昨年3月以降、殺されたとみられる猫が見つかったのは19匹目。同署が動物愛護法違反などの疑いで調べている。
2013/2/15		日本テレビ系(NNN)		切断された猫の死骸 去年3月から20件	広島・呉市で14日、去年3月から20件目となる、切断された猫の死骸が見つかった。犯人につながる有力な手がかりはない。猫の死骸が見つかったのは呉市上畑町で、14日午後2時頃、付近の住民が畑の中に群がる犬やカラスを見つけ、近づいたところ、切断された猫の死骸を発見した。死骸は頭部から左前脚の部分だけが残されており、刃物のようなもので切断されたとみられている。警察は現場付近に血の跡がないことから、何者かが別の場所で見つかったとみて調べている。
2013/2/18		読売テレビ NEWS& WEATHER		広島・呉市でまた猫の死 骸、21件目	広島・呉市で18日朝、腹部が切り取られた猫の死骸が見つかった。去年3月の最初の発見から21件目となる。猫の死骸が見つかったのは呉市西辰川にある民家の庭で、18日午前7時10分頃、住民が玄関を出たところ、庭先で、切断された猫の死骸を発見し、通報した。猫は茶色で、腹部の左右の部分が発見されたところ、切り取られていて、現場付近に血痕はなかった。警察は、何者かが別の場所で見つかったとみて動物愛護法違反などの疑いで調べている。呉市内では去年3月から、切断された猫の死骸が相次いで見つかった。いずれも市内の半径4キロ以内で見つかり、18日で21件目となった。警察は、いずれも犯行の手口が似ていることから同一犯の可能性もあるとみて調べている。
2013/4/2		THE WALL STREET JOURNAL		猫の死骸、25匹に=餌 でおびき寄せ虐待か -広島県警	広島県呉市で切断された猫の死骸が相次いで発見されている事件で2日、新たに1匹の死骸が見つかった。昨年3月の最初の発見から25匹目。県警呉署などは、動物愛護法違反と器物損壊容疑で調べている。同署によると、2日朝、同市東辰川町の民家で、胴体のない猫の死骸を近所の住民が見つけた。猫は雌で首輪は付けておらず、頭部と左右の前脚と後ろ脚、しっぽが捨てられていた。

a. 殺傷

	日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内容
38	2013/1/22	広島	時事通信	猫	広島市内でも猫2死体 =呉の連続切断まねか 一動物愛護法違反容 疑で捜査	広島市安佐北区で、首をひもで締められるなどした猫2匹の死体が相次いで発見されていたことが21日、捜査関係者への取材で分かった。同県市では昨年3月以降、刃物で切断されるなどした猫15匹の死体が確認されている。県警は、呉の事件を何者かかまねた可能性もあるとみて、動物愛護法違反容疑で捜査している。捜査関係者によると、1体目は昨年11月18日、同区可部東の市道で、頭と胴体が刃物で切断された子猫が発見された。2体目は今年3月、同区真亀の県営住宅近くで、ロープで首を絞められ、しっぽと左足が切断され、フェンスに刺さった状態の子猫が見つかった。いずれも通行人が発見し、110番通報した。
39	2013/1/23	広島	フジテレビ系(FNN)	ハト	切断された猫の死骸事 件が相次ぐ広島・呉市で 頭のないハト	22日午後3時半ごろ、呉市西中央の歩道で、住民が頭のないハトを発見した。付近に血の跡などはなく、何者かが運んできたとみられている。頭のないハトは、2012年12月30日と1月9日にも、呉市中央で見つかった。呉市内では2012年3月以降、体を切断された猫が見つかる事件が16件起きているが、死骸が発見された場所や時間帯が、猫の時とは違うことから、警察は、模倣犯の可能性が高いとみて、関連を捜査している。
	日テレNEWS24		今度はハトの死骸見つ かる		22日午後、近くの住民が首を切断されたハトの死骸を見つけた。ハトの死骸は先月30日と今年9日にも見つかった。警察は器物損壊などの疑いで調べている。	
40	2012/12/7	栃木	下野新聞	猫	猫死体足にとらばさみ	狩猟で使用が全面禁止されている金属製のわな「とらばさみ」に右後ろ足を挟まれた猫の死体が6日までに、宇都宮市西1丁目の古い物置で見つかった。物置の所有者が同市保健所に通報。動物愛護団体が警察にも通報した。わなが固定されていたことから、悪質ないたづらの可能性もあり、同市保健所生活衛生課は「猫への虐待が目的なら動物愛護管理法に触れる」と警鐘を鳴らしている。同課によると、昨年12月、同所の複数の住民から「足にわなを付けた猫が歩いている」と通報があり、現地調査を行ったが、確認できなかった。死体は今年3日に発見され、一部白骨化しており、目撃情報から同じ猫とみられる。
					四国新聞	路上に猫の頭部/別の 場所で見つかる
41	2013/2/14	香川	産経新聞	猫	長 浜 で 腹 部 切 ら れ た ネ コ の 死 骸 見 つ か る	17日午前9時45分ごろ、長浜市列見町の歩道で、ネコが腹部を切られて死んでいるのを通りかかった男性(39)が見つけ、長浜署に通報した。同署が動物愛護法違反容疑で捜査している。同署によると、腹部は鋭利な刃物のようなもので切られていたという。
					産経新聞	長 浜 の 民 家 に ネ コ の 切 断 頭 部
	2013/5/2	滋賀	猫	長 浜 の 小 学 校 前 に 腹 を 裂 か れ た ネ コ の 死 骸	12日午前8時45分ごろ、滋賀県長浜市八幡中山町の長浜北小学校正門前に、腹を裂かれたネコの死骸があるのをサッカー練習に来た児童が見つけ、教諭が長浜署に通報した。署は動物愛護法違反事件として捜査している。署によると、ネコは体長20センチほどの子ネコで白、黒、茶色のぶち。首輪はなかった。鋭利な刃物で腹部を横に3〜4センチ切られていた。現場の地面に少量の血痕が付着していた。	
42	2013/8/13	滋賀	中日新聞 産経新聞	猫	長 浜 で ネ コ 死 骸 発 見 相 次 ぐ	12日午後、同市末広町の倉庫敷地内で、近くに住む男性が、胴体が見えなくなった子猫2匹の死骸を見つけた。長浜署は何者かが鋭利なものでネコを殺害したとみて、動物愛護法違反容疑で捜査中。同一犯の可能性も視野に入れており、ハトロールを強化し、通学路の安全点検や登下校時の児童の見守り活動を実施するなどしている。
					中日新聞	凶悪事件発展を警戒

a. 殺傷

日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内容
43	兵庫	産経新聞	猫	腹切られた猫の死骸 北区の駐車場	28日午前8時10分ごろ、神戸市北区ひよどり台の集合住宅の駐車場で、腹部が切り裂かれた猫の死骸があるのを通行人の女性(60)が見つけ、110番した。周囲に血痕がなかったことから、神戸北署は何者かが猫を殺した後、現場まで運んできたのみで動物愛護法違反の疑いで捜査している。同署によると、猫は体長約50センチの雌。腹部が刃物のようなもので30センチほど切り裂かれていたほか、尻尾も付け根から切り落とされていたという。
44	鹿児島	読売新聞	猫	野良猫の虐待相次ぐ 首や腹部に針金、 3匹保護	鹿児島市下荒田周辺で昨年以降、首や腹部に針金が巻かれた野良猫が3匹、相次いで保護された。鹿児島中央署は「人為的に巻かれ、いずれも手口が似ている」として、動物愛護法違反の疑いで捜査している。保護したのは、NPO法人。昨年6月、市内の40歳代の女性から「針金を巻かれた猫がいる」と連絡があり、会のメンバーが確認したところ、首に針金が食い込んだ猫がいた。同年11月と今年2月にも針金が巻かれた野良猫を保護し、3匹はいずれも動物病院で治療を受けた。2月に保護された猫は、3本の針金が腹部にきつく巻かれており、腹膜が破れるなど危険な状態だった。
45	兵庫	スポーツニッポン 朝日新聞デジタル 産経新聞	ウサギ	今年でもう5匹 両脚折れウサギが 死ぬ	11日午後9時10分ごろ、神戸市長田区の市営住宅の1階階段付近で、両方の後ろ脚の折れたウサギが死んでいるのを付近の住民(75)が見つけ、110番した。県警は動物愛護法違反の疑いもあるとみても捜査する。長田署によると、死んでいたのは灰色のウサギ。後ろ脚が折れ、骨が見えていたが、現場に血は残っていないかった。先月26日も同じ場所ですべて茶色のウサギが死んでいた。付近の住民によると今年に入ってから5匹ほど死んでいるのを見たという。
		産経新聞		万引したウサギを殺し 遺棄した容疑 25歳男を逮捕送検	ペットショップで万引したウサギを殺し、集合住宅内に捨てたとして、長田署は10日、窃盗や動物愛護法違反などの疑いで、神戸市の無職の男(25)を逮捕、送検したと発表した。男は精神疾患で通院中で、「ウサギは好きだがかまれたので腹が立って殺した」と容疑を認めているという。送検容疑は2月22日、神戸市北区のペットショップでウサギ1匹を万引したうえ、同25日夜に殺し、長田区滝谷町の市営住宅1階階段付近に不法投棄したとしていいる。同署によると、この市営住宅では昨年未だ6〜7匹のウサギの死骸(しがいが)が見つかったといい、男は「自分が殺して捨てた」と供述しているという。また、男は平成22年以降、20匹以上のウサギを殺して遺棄したとも話しているという。
46	千葉	フジテレビ系(FNN) 毎日新聞 産経新聞 テレビ朝日系(ANN) 日本テレビ系(NNN)	猫および ハト	千葉・柏市の百貨店エス カレーターから猫と鳥の 死骸見つかる	11日夜、千葉・柏市の百貨店のエスカレーターから、猫と鳥の死骸が見つかった。11日午後8時20分ごろ、柏市の「柏高島屋・ステーションモール」内の3階と4階を結び上りのエスカレーターに、動物の死骸が置かれていたのを買取業者が発見した。警察によると、エスカレーターの上段部分には、猫の死骸が置かれ、中段・下段には、ハトのような鳥の死骸が1羽ずつ置かれていたという。この百貨店では、1月10日夜にも、猫1匹と鳥2羽の死骸がエスカレーターで見つかる同様の事件があり、警察は、威力業務妨害事件として捜査している。
47	兵庫	MSN産経ニュース	猫	猫の上半身の死骸、植 物用プランターに埋め る!?	12日午前9時5分ごろ、兵庫県栗(しそ)市のちくさ保健福祉センターで、男性職員(41)が、植物を植えるプランターの中に猫の上半身の死骸が埋まっているのを見、110番した。兵庫県警察署によると、見つかった猫の死骸は頭部や前脚などの上半身で、耳の一部が見える状態でプランターの上に埋められていた。何者かが猫の胴体の中央付近を鋭利な刃物のようなもので切断したとみられるが、周囲に後ろ脚などの下半身や血痕などはなかったという。同署が動物愛護法違反事件として調べている。
48	神奈川	毎日新聞	猫	動物愛護法違反:切断 の子猫の足と尾、動物 保護のNPOに送りつけ られるー横浜	動物保護に取り組むNPO法人に切断された子猫の足と尾が送りつけられた。通報を受けた旭署が動物愛護法違反容疑で調べている。同法人によると、今月8日に郵便が届き、封筒内に子猫の足と尾が1個ずつ入ったフラスナー付きフリーザーバッグと手紙1枚が入っていた。手紙は、飼いがいない猫に不妊手術を施し元の場所に戻す同法人の活動について「野良猫の総数を増やしているようにしか見えない」と指摘。いったん捕獲した猫は放さず、室内で飼育する人に譲るか殺処分するよう求めたという。文面や宛名などはワープロで記され、封筒裏面に「横浜野良猫撲滅会」と記されていた以外、差出人に関する情報はなかった。40年以上前から猫などの保護活動に取り組み、約10年前に同法人を設立した理事長は「許すことはできない。このような脅迫には屈しない」と憤る。さらに「飼いがいない猫、地域猫が同様の被害に遭う恐れがある。注意してほしい」と呼びかけた。

a. 殺傷

	日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内容
49	2013/5/15	北海道	北海道新聞	犬	「結婚生活のストレス発散」飼犬虐待容疑の夫婦書類送検	飼犬に虐待を繰り返したとして、札幌北署は14日、動物愛護法違反(動物虐待)などの疑いで、札幌市の男性会社員(31)と妻(31)を書類送検した。送検容疑は昨年11月～今年2月自宅アパートで飼育している小型犬に、餌や水を与えず衰弱させた上、腹部を蹴るなどの暴行を加え、虐待するなどの疑い。犬は4歳の雄で、2月13日に死んだ。同署によると、2人は「結婚生活のストレスから、飼犬に虐待を繰り返していた」などと供述している。
50	2013/6/4	岐阜	フジテレビ系(FNN) 毎日新聞 読売新聞 朝日新聞 日刊ゲンダイ スポーツニッポン msn 産経ニュース	猫	猫の頭に火をつけて虐待の疑い 38歳の男を逮捕 岐阜・可児市	岐阜県警可児署は4日、岐阜・可児(かに)市のごみ処理施設に勤める男(38)が、猫の頭に火をつけて虐待したとして、動物愛護法違反の疑いで逮捕された。男は、2011年1月、猫の頭にライターで火をつけ、虐待した疑いが持たれていて、自宅周辺では猫3匹が死んでいた。近所の人は「針金が手足に巻いてあって、ガムテープで縛ってあって、身動きが取れないようになって死んでいた」と話した。男の携帯電話には、猫の頭に火をつけて燃やす動画などが保存されていて、自宅には、捕獲用のおりももあったという。
			読売新聞		猫に火つけた衛生施設 利用組合職員、減給処分	動物愛護法違反の疑いで逮捕された、岐阜県可児市の男性(38)は、6月19日に御嵩簡裁から罰金20万円の略式命令を受けた。
51	2013/6/28	和歌山	紀伊民報	猫	田辺市元町で猫が不審死 虐待防止の看板設置	和歌山県田辺市元町の市ごみ処理場近くの道路沿いでこのほど、虐待を受けたとみられる猫3匹が死んでいるのが見つかった。現場近くには数匹の捨て猫がすみ着いており、市は犬や猫を捨てたり虐待したりしないように呼び掛ける看板を設置した。猫の死骸を見つけた市内の男性によると、5月27日、3匹が道路沿いに死んでいた。1匹は首が半分ほど切れ、1匹は顔の半分がへこんでおり、残る1匹は外傷はないが口から血を出して横たわっていたという。「病死や事故ではなく、虐待ではないか」と話している。男性は市のごみ処理場に連絡し、死骸はまもなく焼却された。
52	2013/7/7～ 2013/7/9	宮城	日本テレビ系(NNN) 福井新聞 産経新聞	猫	小学校校庭に猫の死骸	気仙沼市の市立新城小の校庭で、首を切られた猫の死骸が発見され、気仙沼署が動物愛護法違反などの疑いで捜査を進めていることが8日、分かった。同署によると、5日前8時ごろ、同校の校庭で、首を切られた猫の死骸を登校中の児童と保護者が発見した。発見された猫は生後4カ月程度の雌。死後1、2日程度とみられ、首を鋭利なもので切られたような痕があった。付近に血が飛び散った痕がないことから、同署は何者かが他の場所で切断し、校庭に置いたとみている。猫の発見された場所付近には、数日前にも腐乱した犬の死骸が置かれていたといい、同署では関連を調べている。また、登下校時に警察官を配置するなどして警備の強化にあたっている。
53	2013/7/11	兵庫	産経新聞	猫	真夏の“残虐”再び 中学にネコ切断頭部と 胴体…1年前にも類似 死骸	11日前7時15分ごろ、兵庫県加東市木梨の市立中学校のグラウンドで、切断されたネコの死骸を、登校した男子生徒が発見した。昨年7～8月にも、同校や市内の別の中学・高校で切断されたネコの死骸が見つかったおり、兵庫県警社署は動物愛護法違反容疑で捜査し、関連を調べる。同署によると、この日見つかったのはネコの頭部と胴体で、胴体の背中部分には約5センチの切り傷もあった。10日午後6時半ごろに同校教諭がグラウンドを整備した際はなかったという。
54	2013/7/26 2013/7/27	長野	テレビ信州 abn長野毎日放送 読売新聞	猫	猫死骸:また頭部切断、 2匹見つかる一大町、 松本	大町市と松本市のあぜ道などで、頭部を切断された猫の死骸が見つかったことが26日分かった。安曇野市の農道でも19日に同様の猫の死骸が見つかり、いずれも別の場所で切断され、現場に遺棄されたとみられる。県警は関連を調べるとともに、動物愛護法違反容疑も視野に捜査を進めている。大町署によると、26日午前7時ごろ、大町市大町の水田横のあぜ道で、頭部を切断された猫の死骸を水田所有者の男性が発見した。猫は体長約20センチで、頭部を引きちぎられたような状態だった。付近に血痕はなく、頭部は見つかっていない。25日夜から26日未明までに遺棄されたとみられる。また、17日には松本市穂社の住宅街の路上で頭部が切断された猫の死骸が見つかった。松本署によると午前5時半ごろ、近隣住民が発見し、市へ通報。翌18日、同じ場所 で猫の頭部が見つかったという。安曇野市明科七貴の農道でも19日、頭部を切断された猫の死骸が見つかった っており、安曇野署が捜査している。

a. 殺 傷

日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内 容
54	長野	テレビ朝日系(ANN) 読売新聞 毎日新聞	猫	頭部切断された猫の死 体、また見つかった	3日午後4時10分頃、長野県大町市平の市道で、近所の住民が、頭部を切断された猫の死体を発見した。大町署が動物愛護法違反事件として調べている。発表によると、死体は長さ約20センチで茶色と白色のしま模様。刃物で切られたような傷痕があった。周辺に血痕はなく、別の場所から運ばれた可能性が高いという。頭部は見つかっていない。
55	石川	北國新聞	猫および ネズミ	金沢の保育所に動物の 死骸 先月から2度	7月31日と今月7日、金沢市西部の保育所に子猫やネズミの死骸が相次いで置かれていたことが8日、捜査関係者への取材で分かった。死骸が同じ場所にあったことから、金沢西署は、何者かが故意に放置した可能性があるとみて、動物愛護法違反などの疑いで調べている。捜査関係者によると、7月31日朝、保育所1階ベランダに体長約20センチの子猫の死骸があるのを見つけた。翌8月1日には同じ場所に動物の毛のようなものがあった。さらに7日には、体長約10センチのネズミの死骸が置かれていた。金沢西署が調べたところ、死骸には目立った外傷はなく、死んでからあまり時間が経過していないとみられる。いずれも職員が前日夜に見回った際、異常はなかった。
56	兵庫	産経新聞	猫	公園に切断された猫の 頭	5日午前10時半ごろ、神戸市北区ひよどり台の公園で、切断された猫の頭部を通行人の男性(74)が見つけた。兵庫県警神戸北署に通報した。傷口はほぼまっすぐで、同署は何者かが刃物で首を切断したとみて動物愛護法違反の疑いで調べている。同署によると、頭部は公園出入口付近の通路に置かれていた。猫は白色で6～8歳という。周囲に血痕などはなく、胴体部分も見当たらないため、別の場所で切られて運ばれた可能性が高い。
57	兵庫	産経新聞	猫	両脚を粘着テープで巻 かれた猫の死骸発見 兵庫県警が捜査	7日午前8時50分ごろ、兵庫県稲美町印南の用水路で、前後の両脚を粘着テープで巻かれた猫の死骸を近所の会社経営の男性(42)が発見、県警加古川署に届けた。同署によると、猫は体長約40センチ。腐乱が激しく性別などは不明で、周囲に首輪は見あたらなかった。目立った外傷などはないが、後ろ脚の2本を針金のようなもので縛られたうえ、前後の両脚4本を粘着テープで巻かれていたという。用水路は深さ1.4メートル、幅1.7メートルで水深数センチ。同署では何者かが猫を殺して用水路に遺棄した可能性があるとみて、動物愛護法違反事件として調べている。
58	東京	時事通信 スポーツ報知 日本テレビ(NNN) 日本経済新聞 産経新聞 テレビ朝日(ANN) 読売新聞 TBS系(JNN) NHK 福島民報 サンケイスポーツ	猫	生きた猫に火付ける＝動 物愛護法違反容疑で 捜査 一警視庁	東京都北区赤西の公園で、猫が火を付けられて殺されていたことが28日、分かった。猫は通行人が発見した際はまだ動いていたといい、警視庁赤羽署は何者かが生きのまま火を付けたとみて、動物愛護法違反容疑で調べている。同署によると、26日午後5時45分ごろ、帰宅途中の女性が公園の隅で燃えているものを見つけ、近寄って猫だと気づき通報した。同署員が駆け付けたときには、焼け焦げて既に死んでいた。ガソリンや灯油などをかけられ、火を付けられたとみられ、同署は周辺の防犯カメラなどを調べている。猫は体長が約35センチ。首輪などは見つからなかった。油やライターなども見つからなかった。
59	高知	大分合同新聞 らばQ 日本テレビ系(NNN) 毎日新聞	猫	(動物愛護法違反)ポー ガンでネコ射殺 高知大生を書類送検	インターネットで里親を募集していた猫4匹を譲り受け、自宅でポーガンで射殺したとして、高知県警高知南署は11日、男子学生(18)＝高知市＝を動物愛護法違反などの疑いで高知地検に書類送検した。学生は6月30日未明に高知市で発生した連続放火事件で、7月に同署に非現住建造物等放火容疑で逮捕された。捜査の過程で猫の死骸が自宅で見つかったため、追及していた。送検容疑は6月下旬、自宅で2回に分けて猫1匹と3匹をポーガンで射殺したとされる。学生は今年に入ってインターネットで里親を募集していた猫を探し次々と引き取ったという。「鬱憤を晴らしたかった」と、容疑を認めているという。

a. 殺 傷

	日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内 容
60	2013/12/17	神奈川	読売新聞	猫	猫2匹いれん・変死… 毒餌か、シユウ酸塩検出	<p>神奈川県動物愛護協会は6日、横浜市港北区の県立篠原園地周辺で11月上旬以降、野良猫2匹が変死したほか、5、6匹の姿が見えなくなっていることと発表した。連絡を受けた港北署が事件と事故の両面で捜査している。同協会によると、11月6日、通行人の男性が同園地内で見つけた猫を発見。猫は動物病院に運ばれたが、2日後に死んだ。同15日にも、同じ症状の猫が近くの路上で発見され、2日後に死んだ。解剖の結果、2匹の死因は急性腎不全で、腎臓内にシユウ酸塩が多量に沈着し、機能不全となっていたことがわかったという。シユウ酸塩は、市販製品や一部の植物に含まれる化学物質を摂取すると、体内で生成され、腎臓や脳に影響を及ぼす。同協会は「誰かが故意に毒餌を与えた」として動物愛護法違反になる。警察の捜査を見守りたい」としている。</p>

# マスコミ報道された動物の虐待等事例及び関連法違反及び違反容疑一覧

## ①動物の愛護及び管理に関する法律

b. ネグレクト					
日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内容
1 2010/2/4	滋賀	西日本新聞	鶏	養鶏場で万9千羽死ぬ管理不十分が原因	滋賀県甲賀市は3日、同市内の民間養鶏場の11の鶏舎で鶏約3万1千羽のうち鶏約1万9千羽が死んでいるのが見つかったと発表した。県と市は鳥インフルエンザの簡易検査を実施し、陰性であることを確認した。県と市は、死骸(しがいい)を解剖した結果から、水や餌、温度などの飼育環境の管理が不十分だったのが死因と判断した。県によると、養鶏場の管理人と連絡が取れないという。
2 2010/7/9 2010/7/10	徳島	読売新聞	犬	犬を劣悪環境で飼育、ブリーダー登録取り消し	徳島県は8日、繁殖用に飼っている小型犬約70匹の管理が不適切だったとして、徳島市のブリーダーの男性(82)に対して、動物愛護管理法に基づいて動物取扱業者の登録を取り消す行政処分をした。数年にわたって定期的にケージの掃除をせず、劣悪な環境で小型犬を飼育していたという。取り消しは最も重い行政処分で、環境省によると全国初。県によると、県動物愛護管理センターが3月中旬、「異様な鳴き声がある。動物虐待では」との通報を受け、業者宅を立ち入り調査。施設内にチワワ、シーズーなど小型犬約90匹がケージで飼われ、それらの床には汚物が積もり、犬も汚れていた。業者は2007年の登録時は30匹を飼育。当時の県の立ち入り検査では、問題はなかったという。県は、同法に基づいて改善を勧めたが、業者が改めないため、6月17日に業務停止を命令。業者は犬の譲渡を進め、6月末現在で67匹に減ったが、飼育環境は改善しなかったため、登録取り消しを決めた。取り消し日から2年間は再登録できず、営業できない。県は「犬たちを劣悪な環境から一日も早く助けたい」といい、犬を保護して同センターに一時収容する予定。犬の清掃や健康診断、飼い主探しに民間団体や県獣医師会の協力を求めている。県内のほかの登録業者にも、緊急立ち入り検査を行っている。環境省は「二度と同じような違法業者を出さないためにも、厳格な対応が必要。県の処分は適切だった」と評価している。
3 2010/7/14 2010/7/15	山形	山形新聞 読売新聞 毎日新聞	犬	〈動物愛護法違反〉飼い犬5匹餓死させる容疑者逮捕	飼い犬5匹を餓死させたとして、山形県生活環境課と米沢署は14日、山形県米沢市の会社員男性(40)を動物愛護法違反の疑いで逮捕した。逮捕容疑は、09年11月ごろ、同市内の実家で飼っていた犬5匹に餌や水をやるのをやめ、12月～今年1月ごろ、5匹を餓死させたとしている。同課によると、2日に実家に立ち入った市と置賜保健所の職員などが、グレートピレニーズ、ボーダー・コリー、サルーンキーの3匹がケージで鎖につなかれ、ダックスフント2匹がドアも窓も閉められた室内で死んでいたのを発見した。5匹ともミイラ化していた。6月に隣市役所に「異臭がする」と住民から苦情が相次いでいた。男性は「犬に悪いことをした」と容疑を認めているという。
4 2010/12/21	福岡	共同通信	犬	福岡の飼育施設で犬38匹死ぬ 世話をせず放置か	21日午後2時ごろ、福岡県宗像市にある犬の飼育施設で犬が死んでいると、保健所から宗像署に通報があった。署員が駆けつけると、プレハブ平屋の犬舎や周辺のゲージ内で、シバインやマルチーズ、チワワなど少なくとも成犬38匹が死んでいるのが見つかった。宗像署によると、いずれも衰弱や餓えのため死んだとみられ、中にはミイラ化した死骸もあった。同署は世話をせず放置していたとみて、動物愛護法違反の疑いで、施設の管理者から事情を聴く方針。犬舎のドアや窓には鍵がかかっていた。シバイン1匹だけは生きているのを確認したという。別の飼育施設のブリーダーが「2、3カ月前から隣の施設のブリーダーがいらない。犬は大丈夫か」と保健所に通報し、発覚した。
5 2010/12/23	鳥取	毎日新聞	猫	動物愛護法違反宗像の犬大量死 「餌とせず」男性が供述	宗像市の犬飼育施設で柴犬など38匹が死んでいるのが見つかった事件で宗像署は22日、施設管理者の同市内の男性(61)から任意で事情を聴いた。男性が「金がなく、11月中旬以降は餌を与えていなかった」と供述していることが、同署への取材で分かった。犬の死骸は21日、宗像・速賀保健福祉環境事務所からの通報で宗像署が確認した。同署は、近く犬を解剖して死因の特定を急ぐと共に動物愛護法違反容疑で捜査している。
5 2013/6/23	鳥取	産経新聞	猫	子猫5匹を放置死 鳥取の収容施設	飼い主がいらない猫や犬を収容する鳥取県東部生活環境事務所の施設で5月、子猫5匹にミルクを十分に与えないうまま放置し、その後すべて死んでいたことが分かった。規定では、収容後の3日間は餌を与えて保護。飼い主が現れない場合は殺処分引き取り手を待つかを判断することになっており、担当者は「管理体制に問題があった」としている。

# マスコミ報道された動物の虐待等事例及び関連法違反及び違反容疑一覧

## ①動物の愛護及び管理に関する法律

c. 自治体による多頭飼育対応事例					
日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内容
1	北海道	北海道新聞	犬および猫	エサや水与えず、犬猫十数匹を放置 北見の女逮捕	北見署は3日、動物愛護法違反容疑で北見市の無職の女(50)を逮捕した。逮捕容疑は、飼育していた犬、猫合わせて十数匹にエサや水をやらずに放置し、死亡または衰弱させた疑い。同署によると、女は犬や猫を放置したまま市内の別の場所に引越した。5月上旬に近所の住民から「飼いまがなくなりなくなった」という通報を受け、捜索したところ、室内に小型犬6.7匹と猫3.4匹があり、いずれも死んだり重度に衰弱していた。
2	茨城	産経新聞	犬および猫	犬猫放置の疑い、元ブリーダーら逮捕	牛久署は1日、飼育する犬の健康管理を怠ったなどとして、阿見町の元ブリーダーの夫婦とともに(75)と無職の長男(39)の3人を動物愛護法違反と狂犬病予防法違反の疑いで水戸地検土浦支部に書類送検した。同署によると、動物取扱業者に対する動物虐待事件での摘発は県内初。同署の調べによると、夫は犬38匹の登録を同町に申請せず、33匹の犬に課された年1回の狂犬病予防注射を受けさせなかった疑いが持たれている。また、妻は管理する犬64匹を昨年8月20日ごろ～今年2月2日、健康管理をせずに放置した疑いが、長男には子猫を放置し死亡させた疑いが持たれている。夫婦は容疑を認めているが、長男は「(子猫は)死産だった」と容疑を否認している。同署によると、夫婦は10年以上自宅脇の敷地でトイプードルやチワワなどを飼育、平成18年の動物愛護法改正施行時にもブリーダーとして登録していた。同署は告発を受けて捜査を開始、動機などについても調べている。
2010/12/18		朝日新聞		元ブリーダー動物虐待事件 夫婦を略式起訴	動物愛護団体の告発を受けた犬猫ブリーダー(繁殖業者)による虐待事件で、土浦区検は17日、阿見町の元ブリーダーの夫(76)と妻(75)の2人を動物愛護法違反と狂犬病予防法違反の罪で略式起訴した。同容疑で書類送検されていた無職の長男(39)は不起訴処分とした。書類送検した牛久署などによると、夫婦は昨年8月20日～今年2月2日の間、犬64匹を育てていた施設の清掃や消毒をせずにそのまま放置し、皮膚炎や結膜炎などを発症させる虐待をしたとされる。元業者は今年5月に自主廃業。チワワなど小型犬64匹の多くは他の業者に譲渡し、一部は「山に捨てた」と元業者は話したという。
3	大阪	産経新聞	犬	「費用ない」…150匹狂犬病予防せず 元繁殖業者、わずか30隻に	大阪府東大阪市の元犬繁殖業者が、狂犬病予防法に基づき登録や予防注射をしないまま犬約150匹を飼育していることが15日、わかった。市によると、この業者は「必要だとは知っていたが、費用がないので、ほとんどの犬の予防注射と犬の譲渡を約束した」と話しており、府警河内署は狂犬病予防法違反の疑いがあるとみて調べている。東大阪市によると、元業者は平成18年9月、府に動物愛護法に基づき動物取扱業者の登録をして開業。19年ごろから、周辺住民が悪臭や犬の鳴き声に対する苦情を市に寄せようになり、市が犬の登録台帳を調べたところ、まったく登録されていなかった。市は数回にわたり店を訪れたが、元業者が不在のため店員に指導するにとどまっていた。今年7月21日になって初めて、元業者を立ち合わせ調べて調査を実施。店では、平屋建て約50平方メートルの店舗内で、小型犬数匹を1つのケージに入れて飼育していたという。
4	東京都	産経新聞	犬	猟犬13匹を無許可で飼育 容疑の57歳男を逮捕	自宅で紀州犬とビーグル犬計13匹を無断で飼ったとして、警視庁生活環境課と志村署は20日、化製場等に関する法律違反(無許可飼養)の疑いで、板橋区の職歴不詳、男性容疑者(57)を逮捕した。同課によると、容疑者は「犬を繁殖させたり、猟犬が好きだった」と供述しているという。同課によると、容疑者は少なくとも平成15年ごろから自宅の敷地内で複数の犬を放し飼いにし、多いときは約40匹ほど飼っており、近所では有名な「犬屋敷」だった。近隣の女性が敷地から逃げた犬に襲われたことがあり、苦情が寄せられていた。容疑者は20年6月に同法違反の罪に問われ、懲役6月、執行猶予3年の判決を受けていた。同課は今年2月に同区長から告発を受け、捜査していた。逮捕容疑は11月25日午後1時ごろから45間、自宅と同区長に無許可で紀州犬8匹とビーグル犬5匹計13匹を飼ったとしている。

c. 自治体による多頭飼育対応事例

日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内容
5 2012/9/13	兵庫	朝日新聞	猫	市住の一室からネコ62匹、愛護団体が保護 兵庫・川西	兵庫県川西市の市営住宅の一室で、ネコ62匹を飼っている住人がいることがわかり、今月上旬、市内の動物愛護団体が保護した。悪臭や鳴き声に苦情が相次ぎ、市から部屋の明け渡しを求められた飼い主が団体に相談した。団体はネコの引き取り手を探している。ネコを保護した団体によると、飼い主は市内の市営住宅5階に住む60代の男性。男性からの連絡を受けて部屋を訪ねると、ごみが積まれた3DKの室内に多くのネコがいた。男性からは26匹と聞いていたが、押し入れや天袋からも次々と見つかり、9月1日から4日間かけてオス・メス31匹ずつ、計62匹を捕獲した。同会は不妊・去勢手術をして返そうとしたが、周辺住民から「異臭や鳴き声に悩まされてきた」と反対の声が上がった。そこで、市は老朽化で入居募集をしていない別の市営住宅の空き部屋を開放。現在、同会のメンバーが交代でエサやトイレの世話をしている。
6 2012/11/28	静岡	中日新聞	犬	小山町の多頭飼育の犬 引き取り手探しが軌道	小山町の山中で多数の犬が飼われている問題で、難航していた引き取り手探しを軌道に乗せ始めた。数カ月がかりで犬を人間に近づけようとする地産多頭飼育ボランティア活動の成果だ。関係者は「モラルの低い飼い主がいる限り、問題はなくならない」と意識の向上を求めている。沢沿いの農道の突き当たり、二段に積まれた犬用ケージが並び、およそ40匹。「大半が蚊を媒介した犬、発情抑制剤の副作用で腰が異様に腫れ上がったボランディアの女性Aさん(39)。凍傷で足首が欠損した犬、発情抑制剤の副作用で腰が異様に腫れ上がった雌犬もいる。全体的に健康状態は悪い。この多頭飼育の問題は四年前、新聞報道で発覚。県の「殺処分しない」という異例の方針が話題となり、引き取り希望が相次いで、三百万円以上の寄付が全国から集まった。「半年で15匹を引き渡したが、その後は停滞してしまっただけ」と県御殿場保健所。警戒心の強い犬が残り、もらい手が見つからなかった。ネットで問題を知ったAさんは昨年夏から協力を始めた。自宅に預かって、最初は遠くから話し掛けるなど数カ月かけて人にならし、不妊去勢手術も済ませた。独自にネットなどで引き取り手を探し、一年余りで17匹の譲渡に成功した。
2014/1/30		静岡新聞		犬の多頭飼育「解消」 小山町、対策会解散も 検討	小山町の山中で多数の犬が飼育されていた多頭飼育問題で、町は29日、飼育数が昨年未だに2匹になり、多頭飼育状態が解消したと発表した。町は再び頭数が増加しないよう、今後も経過を見守る一方で、「小山町多頭飼育対策会」の在り方について解散を含めて検討するという。多頭飼育問題は1992年ごろ、同町上野の須川沿いに建てられた小屋で約30匹の犬が飼われていることが、住民からの苦情で発覚した。2006年には最大で約120匹が飼育され、狂犬病予防などを含めた衛生面や子犬増加などへの懸念が拡大した。08年から県や町が県獣医師会、県動物保護協会などと対策会を組織して飼育環境の改善に取り組んだ。
2012/12/5 2012/12/6		読売新聞 朝日新聞		「160匹犬屋敷」で死骸 17匹…餓死の可能性	自宅にいた犬約160匹の世話を怠ったなどとして、大阪府警は5日、大阪府和泉市の元ブリーダー、無職、女性容疑者(43)を動物愛護法違反(虐待)と狂犬病予防法違反(予防注射の未接種など)の疑いで逮捕し、発表した。「注射はしていなかったが、エサは与えていた」と話しているという。生活環境課によると、石井容疑者は11月7日から15日間、木造2階建ての自宅に放し飼いにしていたミニチュアダックスフントやチワワなど約160匹に餌や水を与えず、狂犬病の予防接種を怠った疑いがある。容疑者は母親と2人暮らし。2階建ての自宅は、雨戸が閉め切られて悪臭が漂い、トラック5台分のゴミが散乱。犬はおりの中に入れられたり、室内で走り回ったりしていたという。室内は1畳あたり5匹の密集状態だったといわれ、11月21日の家宅捜索で、餓死や病死とみられる死骸17匹を発見。衰弱した犬の大半は保護したという。悪臭などに悩む近隣住民は「犬屋敷」と呼び、苦情を受けた府が立ち入り調査を57回繰り返したが、改善されなかったという。
2012/12/21	大阪	スポーツ報知	犬	虐待された犬、一般家庭に ブリーダーが所有権 放棄	元ブリーダーの容疑者(43)が、大半の犬の所有権を放棄する意向を示したことが21日、大阪府や捜査関係者への取材で分かった。今後は一般家庭へ譲渡される予定。
2012/12/26		産経新聞		犬161匹を虐待した元 ブリーダーに罰金	自宅で飼育していた犬161匹を虐待したとして、岸和田区検は25日、動物愛護法違反などの罪で大阪府和泉市の元ブリーダーの女性(43)を略式起訴。岸和田簡裁は同日、罰金の略式命令を出した。起訴状によると、元ブリーダーは9～11月、自宅で飼っていた161匹を、犬の死骸が放置され、糞尿の処理を十分にしない不衛生な環境に閉じ込め、虐待したなどとしている。

c. 自治体による多頭飼育対応事例

	日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内容
7	2013/2/21	大阪	産経新聞	犬	事件で保護のダックスフント、70匹引き取り手なく…	押収した犬を保護していた大阪府が今月、新たな飼い主の募集を始めた。譲渡対象は約70匹のミニチュアダックスフントだが、22日が募集の締め切りにもかかわらず、21日午前までの応募はわずか3件。事前の周知不足などが原因とみられ、府は「追加募集を検討したい」としている。
8	2013/6/5 2013/6/6	群馬	読売新聞 毎日新聞	犬	犬50頭 無登録飼育容疑	3日午前、犬約50頭を太田市に登録せずに自宅敷地内で飼育していたなどとして、太田署が市内の80歳代の無職男の自宅を狂犬病予防法違反(無登録)容疑で捜索した。男は「金がなかったので、登録や狂犬病の予防接種をやらなかつた」などと供述しているといい、同署は6月中にも同法違反(無登録、未接種)容疑で太田区検に書類送検する方針。同署幹部によると、同署員と県東部保健福祉事務所の職員計約20人が、男の自宅敷地内に放置し飼いにされていた41頭を捕獲した。残り約10頭は縁の下に隠れるなどしたため、同事務所が捕獲を検討している。県によると、「敷地外で犬がウロウロしていて危ない」という近隣住民の苦情が少なくとも2001年頃から寄せられ、口頭や書面で繰り返し指導したという。男は取材に対し、「迷子の犬がかわいそうで飼いはじめたら、次々に子どもが産まれた。近所の人には悪いことをした」と話した。近くに住む40歳代男性は「犬は好きだけれど、さすがにうるさ過ぎた」という。
			毎日新聞 読売新聞		狂犬病予防法違反: 82歳男性、容疑で書類 送検 —太田署	飼いの登録と狂犬病の予防注射を怠ったとして太田署が太田市の無職男性(82)を狂犬病予防法違反(無登録、未接種)容疑で太田区検へ書類送検していたことが21日、同署への取材で分かった。送検は20日付。送検容疑は、今年4月26日時点で生後91日以上経過している犬39頭を5月25日までに同市へ登録せず、また昨年4月1日から同年6月30日までの間に、39頭のうち26頭に同法で定められている年1度の予防接種をこなさなかつたとしている。
9	2013/10/31	京都	m s n産経ニュース	犬	「増えたら捨てることもあった」 無許可で犬37匹飼育 50代の姉弟を書類送検	京都府警下鴨署は31日、無許可で犬37匹を飼育したなどとして、化製場法違反(無許可飼養)と狂犬病予防法違反(無登録・無接種)の疑いで、京都市のアルバイトの男(52)と女の姉(54)を書類送検した。同署によると、ともに容疑を認めている。書類送検容疑は7月24日、男の自宅で市長の許可なく犬37匹を飼養し、うち成犬25匹について、市長の登録を受けず、狂犬病の予防接種を受けさせなかつたとしている。同署によると、2人は男の自宅内で、汚物処理をしないまま犬を飼育。犬を10匹以上同時に飼育するには市長への届け出が必要だが、男は「知らなかつた」として届け出をしていなかった。また、登録と予防接種については「面倒でお金もなかつた」などと供述しているという。平成23年秋ごろから同区内の河川敷や橋付近で捨て犬が相次いでおり、今年6月、市からの通報で犯行が発覚した。6月上旬には、橋付近に少なくとも25匹が捨てられていたという。近隣住民からは犬の臭いや鳴き声に関する苦情も以前から寄せられており、男は「10年前から常時10頭以上飼っていた。増えたら捨てることもあった」と話しているという。

c. 自治体による多頭飼育対応事例

日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内容
2013/8/6 2013/8/7	栃木	北國新聞 サンケイスポーツ 下野新聞 毎日新聞 朝日新聞 産経新聞 テレビ朝日系(ANN) 読売新聞 東京新聞	犬	動物愛護法違反： 犬のふん、死体放置 虐待の疑い、県が初めて 飼い主を告発	県動物愛護指導センターは6日、飼育小屋に大量にたまった犬のふんを処理せず、死体も放置していたことなどが虐待にあたるとして、飼い主である上三川町の50代男性を動物愛護法違反容疑で下野署に告発した。動物虐待を理由に行政機関が個人の飼い主を告発するのは県内で初めて。全国的にもまれという。小屋では残った犬が死んだ犬を食べるといった異常な状況も確認されていた。県によると、男性は2004年から犬を飼い始め、10年から多頭飼育に関する苦情が寄せられていた。今年4月から小屋にふんがたまるといなり、県は5月から週に1回の現場確認を始めた。当初は11頭いたが、6月24日、3頭が死んでいるのを確認。高さ1.4メートルの小屋にはふんが60センチほど、重さにして約1トンのため、残された犬は身動きも困難になっていた。残された8頭の犬は、死体を食べていたという。県は同26日、8頭を県南ドッグセンター（栃木市）に保護した。男性は7月、ふんを片付ける意思を文書で県に伝えたが、今月1日の期限を過ぎても飼育環境を改善しなかったことから、県はネグレクト（飼育放棄）による虐待と判断。告発に踏み切った。県は男性に文書で3回、口頭で6回指導したほか、現地調査も22回行った。今年5月に事情を聞いた際、男性は体調不良や仕事の不規則さを理由に「なかなか世話ができない」と話していたという。県は告発に明確な基準はないとしたものの、「極端な動物虐待には今後もあらゆる手段を使って対応する」としている。
2013/8/8 2013/9/10		読売新聞 フジテレビ系(FNN) テレビ朝日系(ANN) 毎日新聞 読売新聞		動物愛護法違反： 犬のふん、放置容疑で県 告発の男逮捕	下野署は8日、上三川町で犬が大量のふんがたまっていた状態で飼育され、県が虐待に当たるとして県警に告発していた問題で、飼い主の同町上三川、トラック運転手、男性容疑者(59)を動物愛護法違反容疑で逮捕した。容疑は5月1日～6月26日、自宅の庭先の小屋で飼っていた犬のふんを処理せず、8頭を不衛生な環境で収容し、虐待したとしている。
2013/9/19		毎日新聞		〈動物愛護法違反〉 大量ふん、犬飼育 罰金10万円命令 —8匹虐待	動物愛護法違反容疑で逮捕された栃木県上三川町、トラック運転手、男性容疑者(59)について、宇都宮地検は18日、同法違反の罪で宇都宮簡裁に略式起訴した。簡裁は被告に罰金10万円の略式命令を出した。起訴状によると、5月1日～6月26日、自宅の庭先の小屋で飼っていた犬のふんを処理せず、8匹を不衛生な環境で収容し、栄養不良状態などにして虐待したとしている。

## マスコミ報道された動物の虐待等事例及び関連法違反及び違反容疑一覧

### ②刑法（器物破損罪）

		刑法（器物破損罪）		
日付	地域	新聞社	動物	タイトル
1	千葉	毎日新聞	ヤギ	ヤギ 左右の角2本折られる 千葉の動物飼育場
2	大分	毎日新聞	犬	〈動物虐待〉公園にくぎ 仕込んだ肉 犬が食べ手術
3	長崎	毎日新聞	ウサギ	器物損壊・小学校のウサ ギ切られて死ぬ —西海市
4	山口	毎日新聞	ウサギ	〈器物損壊〉小学校でウ サギ2羽殺される
5	宮城	J-CASTニュース	犬	散歩中の犬が嘔吐、死 亡する怪事件 食べた骨に付いていた 青い粉末は？
2011/4/16		毎日新聞		新富町の犬 被害・青粉 未殺虫剤と判明

3日午前8時ごろ、千葉市の動物飼育場で、シバヤギ（雄、8歳）が左右の角2本を折られ血だらけでうずくまわっているのを、飼育するNPO法人理事長（65）が見つけ、通報した。県警千葉東署は器物損壊容疑で調べた。理事長によると、2日午後6時ごろ飼育小屋に入れて帰宅。翌朝エサやりに来ると、ヤギが小屋の中でうずくまり、2メートル四方の血だまりができていたという。飼育場は高さ1メートルの柵で囲われているが、小屋や柵に鍵は設けていなかった。角2本は見つかっていない。治療に当たる市動物公園飼育課によると、ヤギの角は成人男性が1人で折ろうとしても簡単には折れないという。ヤギは昨年7月、同公園から譲り受けた2頭のうちの1頭で、近所の人気者。

3日午後7時半ごろ、大分県別府市の公園に、小さなくぎを差し込んだペット用の肉のくん製が捨てられているとの通報があった。市内の女性（29）が飼っている雄のミニチュアダックスフントがこのくん製を食べたことが判明。レントゲン検査で腹部に十数本のくぎが見つかると、犬は動物病院で手術を受けた。県警別府署は、ペットを狙った悪質なはずとみとめて、器物損壊容疑で捜査している。調べによると、くぎは長さ1.6センチ。ちぎった肉のくん製の中に埋め込んであった。公園の一角に数十個がばらまかれており、犬は女性に連れられ散歩中の同日午後5時半から7時ごろの間に食べたとみられる。現場は浜海公園で、市民や観光客に親しまれている。

26日午前8時50分ごろ、西海市の小学校のウサギ小屋（幅約3メートル、高さ約2メートル、奥行き約2メートル）で、ウサギ1羽が首を切り取られた状態で死んでいるのを同校教諭が見つけ、西海署に通報した。同署は何者かがウサギの首を切った可能性があるとみて器物損壊事件として捜査している。同署などによると、小屋の中のウサギ5羽のうち1羽が死んでいた。小屋は木製で、金網を張り巡らせていた。施設されていたが、鍵は小屋近くにあり、誰でも解錠できる状態で、鍵も残っていた。署員が学校周辺を調べたが、ウサギの首部分や刃物などは見つからなかった。

18日午前7時20分ごろ、山口県宇部市の小学校で、飼育小屋で飼われていたウサギ2羽が殺されているのを出動した男性教頭（51）が見つけた。刃物で切られた跡があり、うち1羽は頭部が切断され、見つかっていない。宇部署は悪質な器物損壊事件として調べている。同署によると、発見時に小屋は施錠されており、壊された形跡もなかった。教員が17日午後4時にエサをやった時は異常はなかったという。

9日午後宮崎県新富町で、「飼い犬が何かを食べ嘔吐を起こした」と宮崎県高鍋署に通報があった。高鍋署によれば、通報のあった犬が青い粉末がかかった骨を食べたのはその日の午後8時。飼い主はすぐに動物病院に運んだため一命を取りとめた。そして獣医と相談し通報してきたという。その後、同じ日の午後7時に同じ場所の道に落ちていた骨を食べて、体調を崩した飼い犬がいることがわかった。さらに4月11日朝、同じ場所ではかを食べ嘔吐、嘔吐を起こした犬がいるとして、新富町夜場から通報があった。捜査を進めると1月8日、これまでの3匹と同じ場所ではかを食べ、動物病院に運ばれた犬がいたことが分かった。その犬は死亡した。青い粉のようなものが何なのか現在分析中だが、農業の可能性があるといる。

新富町で1月から今月にかけて、散歩中の犬が道路に落ちていた青い粉末が付着した骨を食べ、死んだり、嘔吐を起こした事件で、粉末は県警の鑑定の結果、殺虫剤だったことが分かった。一般に購入できる殺虫剤だといふ。被害に遭った犬は計4匹で、うち1匹が死んだ。高鍋署は器物損壊と動物愛護法違反の疑いで捜査している。

刑法（器物破壊罪）

日付	地域	新聞社	動物	タイトル	内容
6	三重	中京テレビ	犬	飼犬の不審死相次ぐ 三重・松阪	三重県松阪市で今年2月から、飼い犬が散歩のあとに食べたものを吐くなどして死ぬケースが相次いでいる。これまで10匹の犬が死んでおり、警察は、現場で聞き込みをして調べを進めるとともに、パトロールをして警戒している。いずれも10歳の犬2匹を死なせた飼主の女性は、今年2月15日、いつも通り、近所のあぜ道で2匹を散歩させた。そのとき、1匹が落ちていたパンのようなものを食べたが、元気に自宅に戻った。その後、突然2匹が食べたものを吐き、1匹は3日後に、もう1匹は約10日後に死んだという。その後、女性が住んでいる町と、すぐ近くの町の2つの地区で、2月と4月に合わせて約10匹の飼い犬が不審な死に方をした。そのうちの数匹を診察した獣医は「こんなことはあまりない」とし、「今のところ、農薬が原因ではないかと考えられる」と推測する。地域の住民から相談を受けた警察は、付近のパトロールを行うとともに、犬が食べたと思われる食品などを調べ、器物損壊と動物愛護法違反の疑いもあつて詳しく調べている。
7	山梨	産経新聞	犬	市役所支所前に頭部 のない犬の死骸	16日、山梨県北杜市の大泉総合支所の前に、頭部と尻尾のない犬の死骸が置かれていたことが県警北杜市や同支所への取材で分かった。同署は器物損壊や動物愛護法違反の疑いもあつて調べている。同署などによると、犬種は不明で、胴の長さは約50センチ。首輪はなく、頭部や尻尾は見つかっていない。15日午前8時ごろ、通行していた中学生が死骸を見つけて市側に連絡した。市職員が14日午後5時ごろに退庁した際には死骸はなかったという。同支所は「トラブルはなく、脅迫などをされる心当たりはない」としている。
8	兵庫	毎日新聞	猫	器物損壊： 那波中敷地内に切断し た猫の頭 相生署が捜査	15日午後3時半ごろ、相生市の中学校で教室棟のエアコン室外機の横にあったコンクリートブロックの穴の中に、切断した猫の頭があるのを清掃中の1年生の男子生徒(12)が発見し、教師に届け出た。相生署の調べでは、生後2カ月前後の子猫で、死後2、3日とみられるという。胴体は見つかっていない。同署は何者かが鋭利な刃物で切断し、放置したとみて器物損壊容疑で調べている。
9	兵庫	産経新聞	ウサギ	小学校のウサギ殺され る、頭に殴られたような 跡	15日午前8時10分ごろ、兵庫県猪名川町の小学校で飼育小屋のウサギ1匹が死んでいるのを登校した飼育係の女子児童が見つけ、連絡を受けた校長が兵庫県警川西署に通報した。ウサギの頭に殴られたような跡があり、同署は器物損壊事件として捜査している。同署によると、普段は飼育小屋の外に置いてあるというスコップが小屋の中で見つかった。飼育している動物はウサギ1匹のみで、14日午後、飼育係の児童らが餌を与えた際には異常はなく、ダイヤル式の鍵を閉めて帰ったという。
10	栃木	毎日新聞	ウサギ	清滝小：ウサギ4羽死ぬ 傷つけられた跡 一日光	12日午後1時20分ごろ、日光市の小学校で、敷地南西側にあるウサギ小屋で飼育していたウサギ4羽がすべて死んでいる、と男性教諭(51)から日光署に通報があった。ウサギには傷つけられたような跡があるといい、同署は器物損壊事件として捜査している。同署や同小によると、ウサギは2年生が餌やりやふんの片付けなどの世話を担当していた。小屋の様子がおかしいことに気づいた児童が近くにいた男性教諭に報告し、発見したという。同署は児童が最後に世話した9日午前10時35分ごろ～12日の発見時ごろ、不審な点が見つかったかを調べる。小屋は金網などで囲ってあり、且立って破られた形跡はなかった。
11	東京	産経新聞	猫	元官僚が猫を蹴り死な せる…ペットが引き裂 いた「華麗なる一族」 の絆	昨年8月11日夕方、東京都新宿区の住宅街で自宅の居間でソファに座っていた妻(50)が隣人の怒鳴り声を聞き、駆けだしたところ、口から血を流した飼育猫を発見した。隣人は、両宅を隔てる高さ約1メートルのフェンスをばで猫を踏みつけていたという。すぐに猫を病院に搬送したが回復せず、4日後に死んだ。隣人によると、猫は隣人の犬に飛びかかり、敷地内でとっつき合いを始めたとのこと。この犬は約5年前、別の猫に襲われ、失明の恐れがあるほどの深い傷を負っていたため、隣人は取り乱し、「犬の首輪を持って何度も引き離そうとしたが、そのたび向かってきた。猫を足で押さえて引き離すしかなかった。頭の中が真っ白になってしまった」と猫を踏みつけた心境を振り返った。夫妻は猫の死後、警視庁新宿署に、器物損壊と動物愛護法違反の罪で隣人を告訴した。警視庁は両容疑で隣人を書類送検し、東京区検は今年3月器物損壊罪で略式起訴。東京簡裁は罰金20万円の略式命令を出し、既に隣人は納付した。